京城日報
二十六日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢 郵稅一ヶ月金十五錢 三ヶ月分[illegible] 六ヶ月分[illegible]
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲二號活字八字詰壹行金壹圓 ▲三號活字同上 ▲四號活字[illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible] 振替貯金口座京城[illegible]

露國の形勢

▲廢后の書翰發見さる
單獨講和の眞相判明

露國前內相プロトポポフ氏の邸宅搜索中アリス廢后の書翰發見せられ露國單獨講和の眞相判明せり(紐育電報)

▲廢帝の旅行嚴禁

露國政府はニコラス廢帝の旅行を嚴禁せり(紐育電報)

▲自由公債卅億留發行

近く五分利公債三十億留新に發行せらるゝ事となり右は自由公債と稱し八十五留の手取なり(長春電報)

▲國民自由黨の大會

國民自由黨全露大會は來る四月七日露都に於て開會の事に決定中央委員會は各委員會に對し地方團體に交涉方通牒せり(長春特電)

▲兵士代表者大集會

リガ劇場にて兵士代表者の大集會あり參加者は孰れも戰線より歸來し二三下院議員の演說ありたり(長春特電)

▲新政府と哈爾賓市民

哈爾賓市民は新政府に多大の同情を表し居れり(長春特電)

◎三燈臺の消燈

香港來電―ギャブロク、ワグラン、ケープコルリン各燈臺は三月三十一日以後消燈の筈にて各船主に向け警告したり(上海特電)

◎米議會と戰時狀態期

華盛頓來電―米國議會は四月二日を以て召集さるゝや直ちに米國人の權利擁護の爲め巨額の支出案を可決し戰時狀態を宣言すべしと期待せらる(倫敦電報)

▲開戰せば資金の供給

米獨兩國開戰の曉には米國政府は聯合國側に對し資金を供給せん(桑港電報)
◎米國の聯合國援助は先づ以て軍費の供給にありと(紐育電報)

◎獨逸國內狀勢重大

羅馬來電―獨逸より傳はれる情報に依れば、獨逸國內の形勢は重大にして人民の危懼其の極に達せり政府は暴動の結果として重なる都會全部に戒嚴令を布告せり又殆んど何處の部分に於ても叛亂起らんとして僅かに鎭壓せられたる有樣也伯林に於てすら人民は戰爭の終局を絕叫して不穩の態度を示せり アムステルダムよりも略同樣の報道達せるも眞疑を確かむるに由なし(紐育電報)

◎佛國戰闘艦の沈沒

巴里來電―戰闘艦ダントン號は三月十九日地中海に於て二個の水雷を受け三十分間にして沈沒せり乘組員八百〇六名は救助せられたるも二十九名は溺死せり(紐育電報)

◎英國の商船徵發令

英國政府は一般に(此間電文不明)航路に關する一切の商船に對し一般的徵發を令せり政府が斯く其の監督權を擴大するは全英國の商船を海軍總監の管轄の下に集めて之を取扱はんと欲する計畫なりと察せらる(紐育電報)

◎汪氏帝劇招待

實業家二十五日汪特使一行を帝劇に招待し觀劇會を催ふせり(東京電報)

◎獨公使の出發

駐支獨公使ヒンツエ氏は二十五日午後六時北京發上海に向け出發せるが見送多かりき(北京電報)

◎伏見宮邸賜宴

伏見宮殿下には實業家數十名を召され第二次の賜宴あらせられたり(東京電報)

◎後藤內相演說

東北巡視の途にある後藤內相は廿五日朝福島着同市有力家の請により一場の政談演說を試みしが頗る盛會にして多大の反響を見たり(東京電報)

◎木村氏の除名

京都府郡部憲政會候補者木村良氏は這回除名さる(東京電報)

◎內地人農業經營趨步
投資總額四千五百五十八萬圓
從業者總數六千九百六十九人

總督府最近の調査に依るに內地人農業經營者數は大正四年十二月末日現在に於て六千九百六十九人を算し其の投資總額四千五百五十八萬七千三百五十五圓、所有地面積畓十萬八千七百四十五町歩、田六萬二千三百十一町三反歩、山林一萬七千四百九十九町三反歩、原野八千九百五十七町七反歩其の他八千二十七町三反歩、合計二十萬五千五百三十七町六反歩にして之れを前年に比すれば經營者數に於て九百二十八人投資總額に於て六百七十六萬七千三百七十七圓所有地總面積に於て七千六百三町六反歩を增加せり、而して右の中一萬圓以上の投資者は三百一人にして其の投資額三千四百六萬八千八百八十六圓所有地面積十五萬八千四百六十七町四反歩なり、今各年別內地人經營の農業表並に大正四年十二月末日現在地方別內地人經營の農業者表を示せば左の如し

各年別內地人經營農業表

年次	經營者數(人)	投資額(圓)	所有地面積(町)
明治四十三年	二、二五四	[illegible]	[illegible]
明治四十四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正四年	六、九六九	四五、五八七、三五五	二〇五、五三七、六

各道別內地人經營農業表

道名	經營者數(人)	投資額(圓)	所有地面積(町)
京畿道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠淸北道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠淸南道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全羅北道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全羅南道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶尙北道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶尙南道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
黄海道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平安南道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平安北道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
江原道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸鏡南道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸鏡北道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
總計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

備考 經營者數道別に付所有地及び其面積等の關係上一人を二人若くば三人四人に計上せるものあるより新に其の實數を附記す

◎綠肥栽培激增

朝鮮に於ける農事改良漸く緖に就き農產物の收穫年と共に遞增するの狀況に在るを以て之に伴ひ施肥の增加を圖ることは最も急務とする所なり然れども農家として猥に販賣肥料を購入施用せしむるは農家經濟上得策ならざるが故に當局に在りては從來綠肥堆肥等主として農家の勞力に依りて得らる可き肥料の生產施用を獎勵し來り就中綠肥は桑樹果樹の間作とし或は畓の二毛作又は畓二毛作の麥の間作として適當なるを以て極力其の栽培を獎勵せるに成績甚だ良好にして作付反別年々著しき增加を示し大正五年に於ける總作付反別は一萬一千九百三十七町四反歩、總收穫千九百六十二萬四千八百五十七貫にして之を前年に比較すれば作付反別收穫高共に六割強の增加なり今綠肥作付反別及び收穫高累計表を示せば左の如し

年次	作付反別(町)	收穫高(貫)
大正元年	一、四一三、四	七〇一、三九九
大正二年	一、五二七、二	二、三三七、〇三四
大正三年	三、三五九、七	四、八九三、二四一
大正四年	七、二一七、五	一一、六〇六、八八二
大正五年	一一、九三七、〇	一九、六二四、八五七

◎徵兵檢査日割

大正六年度徵兵身體檢査日割は左の如く確定せり

檢查地	月日	開始時間	檢查場
羅南	四月六日	午前八時	步七三將校集會所
咸興	一日	午前九時	步七四[illegible]
元山	五日	同 八時	元山兵營內
平壤	六日 七日	同 八時	步七七下士集會所
義州	七日	同九時半	守備隊
龍山	一日 二日 三日 四日 五日 六日	同 八時	步七八下士集會所
大田	九日 十日	同 八時	大田淨土宗寺院
大邱	五日 六日	同 八時	大邱大休寺
釜山	四日 五日 六日 七日	同 八時	釜山東本願寺別院
光州	五日 六日	同 八時	光州郡廳建物 光山館

◎教員試驗成績

大正五年中各道に於て私立學校教員試驗規則に依り初等の普通教育を爲す私立學校の教員試驗を執行せり其の狀況及び合格者左の如し

道	受驗者數	合格者數
京畿道	一六	九
忠淸北道	[illegible]	[illegible]
忠淸南道	[illegible]	[illegible]
全羅北道	[illegible]	[illegible]
全羅南道	[illegible]	[illegible]
慶尙北道	[illegible]	[illegible]
慶尙南道	[illegible]	[illegible]
黄海道	[illegible]	[illegible]
平安南道	[illegible]	[illegible]
平安北道	[illegible]	[illegible]
江原道	[illegible]	[illegible]
咸鏡南道	[illegible]	[illegible]
咸鏡北道	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

即ち各道の受驗者合計三百六十一名に對する合格者百六十九名にして半數未滿の成績を示せり

◎進明校卒業式祝辭

私立進明女子高等普通學校卒業式に於て上田視學官の代讀せし宇佐美內務部長官の祝辭左の如し

祝辭

私立進明女子高等普通學校卒業生諸子は多年本校に在りて女子必須の教育を受け今や本校を去らむとす宜しく思ふに女子の任務は能く一家を整理して內助の効を舉ぐるに在り諸子須らく本校教育の趣旨を體して時弊に染まず言行を愼み貞操を重んじ其の任務を全うし一般婦女子の模範となり皇恩に報答する所以を忘るゝこと勿れ聊か所感を陳べて祝詞に代ふ

◎全羅丸の委附

江原道甕津沖に於て坐礁し引卸不可能となりし朝鮮郵船會社汽船全羅丸は會社と東京海上保險會社と協議の結果同船は保險會社に委附し規定の保險金を收むる事となりしが保險會社は同船を解き內地に運搬し去るべしと

◎大同江命令航路

大正六年四月一日より九月末に至る大同江命令航路の定期發著日時は三月十五日附總督府より認可あり二十六日の官報にて發表されたり

◎東拓植林準備

東拓事業部殖產課に於ける咸南德源郡の植林は昨今頻りに準備中にて既に鱉島苗圃の樹苗拔取は終了し目下長倉技師等出張の上元山苗圃の樹苗採取準備中なり而して其の植林開始は解氷の關係上四月中旬に入るべしと云ふ

◎松永道長官出張

松永京畿道長官は富永書記を隨へ廿六日朝管內坡州郡に於ける事務視察の爲め出張同日歸任の筈

◎古海總長水原行

古海警務總長は亥角警務官國友脇野兩警視太田齋藤兩副官其他五名を隨へ水原[illegible]檢閱の爲め二十六日午前八時三十分南大門驛發列車にて出張同日歸任す

◎木村理事歸京

東上中の朝鮮銀行理事木村雄次氏は二十五日東京出發直路歸鮮する事となり二十七日午後九時南大門驛著の筈なるが滯在少日にして亦直ちに東上すと

◎ホ氏一行出發

日支聯絡會議支那側出席委員ホオーレー氏一行は廿六日朝八時三十分南大門發列車にて內地に向へり

◎清水東拓參事歸任

母堂逝去のため歸省中なりし東拓參事清水常吉氏は二十五日夜歸任せり

◎野口孝太郎氏の訃

十八銀行長崎本店取締役兼支配人たりし野口孝太郎氏は先般來病氣の處藥石效なく遂に二十五日夜逝去したりと

◎慶北金融組合現況

慶北道各地二十五組合二月末現況を見るに組合員總數一萬一千八百五十人貸付金三十二萬二千百五十六圓預り金四萬一千五百九十圓預ケ金十萬六千八百八十九圓現金七千八百九十二圓にして是を前月に比するに組合員二百十一人貸付金に於て九千六百七十一圓の增加を示せり(大邱)

◎仁川學校組合選舉期

仁川學校組合にては來る五月二十一日議員選舉を行ふ可く選舉資格查定期日其他を揭ぐれば選舉資格查定四月一日現在に依り十五日名簿調製を終了の上四月二十一日より二十七日迄八日間每日午前八時より午後四時迄名簿の縱覽を許し關係者の異議申立期間は二十八日より三日間とし異議の申立てありたる場合は組合會の決議に付し七日內に決定し五月十八日名簿確定せしむ可く選舉會場投票日時及び選舉すべき議員數の告示執行は十四日より廿日迄の七日間にして二十一日午前九時より午後五時迄選舉を行ふ當選告知執行は二十二日當選者當選辭任申立期間終了は五月二十六日なりと(仁川)

◎學校組合委員會

去る二十二日開催されたる京城學校組合議會に於て委員に附託されたる六案は二十五日午後一時商業會議所樓上に委員會開會討議されたり

◎醫專卒業式

京城醫學專門學校にては二十七日午前十時より第一回卒業式を舉行する由

◎漆工會例會

京城漆工會にては二十四日午後六時より中央試驗所內に第二回例會を開催出席者四十九名にして左記諸氏の講演あり十一時閉會したり
一般國衆の藝術　佐々木信一君
漆工と他器との關係に就て　廣川旅夫君
漆液の性狀に就て　木村幹事長

□漢口より
三月廿一日　韓相龍

漢口に一泊中上候、當地は漢水と洞庭湖との合流點にして、漢陽武昌とは宛も鼎足の形をなし居り候、鐵道に依り又河南湖北水運に依り、湖南江西、陝西、甘肅、四川、雲南、貴州の物資を吞吐し居るを以て、支那人之を九省の會と稱し居り候。昨年々の貿易高は二億兩を越し、而も輸出超過な不知止の樣子にて、尙年々增加致し居り候。將來粤漢線に依り又香港と川漢線に依り、成都との交通の便開けたる曉には、當地の繁榮は實に驚くべきものと信ぜられ候。粤漢線は香港韶州間は既に開通し、武昌長沙間は今夏迄に開通の見込にて、全線の三分の二は完成せりとも申すべく候。當地は不相變銀の騰貴に依り金融逼迫致し居り候。而も物價の高きには喫驚の外無之候、匆々。

◎清津水產加工業

清津地方に於ける漁獲物は大部分魚市場に於て集散せられ生魚の儘取引さるゝも鰯は漁業者自ら製造するものを除きては製造者と豫約し生魚の儘受渡を爲し之を開鱈として神戶下關地方に移出され更に同地より南支地方に輸出さる而して開鱈製造は從來內地人のみなりしも昨年より鮮人も亦之が製造を開始したるが手間賃其他の經費を節減し得らるゝを以て內地人製造者を壓せんとするの傾向あり明太は同じく豫約に依つて賣却せられ製造者は其一部分を生產する外乾製として南鮮方面に移出す鱈肝油は昨年創めて製造されたるも方法未だ拙劣にして之が價値を保するまでには猶ほ研究を要するものゝ如し夏期に於ける小鰺は昨年之を煮乾下製造して鰹代用としたるが相當賣行あり又た小鰺及び小鯖を燻製としたるに之れ亦た市場の歡迎あり其他乾河豚乾鯣等漸次水產加工品の製造增加するの傾向あり(清津)

◎支那海軍の新編成

支那海軍の艦隊編成は巡洋艦隊、長江艦隊、練習艦隊の三種となし各艦隊に司令一員宛を設く巡洋艦隊は即ち海軍第一艦隊にして林葆懌氏を司令となし上海に駐せしめ之れに海圻、海容、海籌、海琛の四巡洋艦及び運送艦南琛等を附す又長江艦隊は第二艦隊にして饒懷文氏を司令となし江寧に駐せしめ之れに砲艦江元、江亨、江利、江貞、楚謙、楚豫、楚觀、楚同、楚有、楚泰、江鯤、江犀、永翔、永豐等の十四隻、水雷艇辰、宿、列、張、湖鵬、湖鶚、湖鷹、湖隼、同安、建章等の十隻汽船瑞鯨一隻を附し長江の上下流の各要隘に分駐せしむ又練習艦隊は福建に駐せしめ之れに肇和、應瑞、飛鷹、通濟等の練習艦及び外福安、福利の二運送船を附すと(北京)

通信 鐵原

▲醫生講習會 鐵原憲兵分隊に於て管內醫生十二名を召集し廿三日より十日間の豫定にて講習會を開催せり講師は山田公醫及び安原伍長なり▲卒業式 鐵原公立普通學校並に同公立高等小學校は何れも廿四日午前十時より卒業證書授與式を舉行し引續き生徒學藝會を催したるが父兄有志等の來賓多數にして盛況を極めたり▲衛生組合會 鐵原衛生組合は廿五日午後四時より組合會を開き大正六年度歲出入豫算及汚物掃除附託の件を附議せり

通信 鳥致院

▲美湖川橋竣工 昨大正五年十一月の候より淸州鳥致院間二等道路中に架設せられたる美湖川橋架換工事に著手したるが工事此の程漸く竣功したるを以て二十四日長谷川總督一行始めて渡初めを行ひ二十五日を以て一般の通行を許可する事となり爰に鳥淸道路は舊態に復するに至れり因に舊橋梁材料は豫ねて忠淸南北兩道の交涉により開通を見るに至りたる梧根場道路中の橋梁を利用する筈なれば淸鳥間道路の復舊に加ふるに梧根場道路の開通完成を見るに至らば鳥致院の經濟上に及ぼす影響や蓋し少なからざるもののあるべく期待されつゝあり▲遠山支配人 淸州忠州各支店視察の爲め出向中なりし漢湖農工銀行遠山支配人は二十四日忠州より淸州に引返し一泊二十六日再び來鳥の筈▲市場工事完成 豫ねて計畫施行せられつゝありし鳥致院市場整理移轉工事は既に去る廿日を以て全部竣工せしが尙ほ市區改正工事中市場連絡工事竣工せず加ふるに道當局者多忙の爲め竣工檢查未了の爲め尙ほ移轉の運びに至らざるが來月上旬には諸工事全部竣工移轉を見るに至るべし因に新市場內常設店舖としての家屋建築は着々行はれ其の他樞要地區の貸借交涉又既に完了したる由なれば鳥致院今春の建築界は昨年末の大火の復舊工事と相俟て空前の盛況を呈すべし

人事消息

▲內村安太郎氏(平壤慈惠醫院長) 廿六日朝入京[illegible]
▲河本善登氏(平北楚山憲兵分隊長) 同上
▲[illegible]良太郎氏(鎭海要港部參謀) 同上[illegible]
▲近藤龍三郎氏([illegible]) 同上
▲[illegible]三郎氏([illegible]) 同上
▲[illegible]六郎氏([illegible]) 二十五日夜入京
▲[illegible]氏(全南道技師) 同上
▲和田[illegible]氏(京都帝大助教授) 廿四日午後入京
▲ミーラー氏(京城駐在米國領事) 京城旅館へ
▲赤木萬二郎氏(平壤中學校長) 二十三日附平安南北及び黄海道管內へ出張を命ぜらる

逐鹿夜話

▲東京の或質屋で店頭に『小生は某君に投票可仕候』と貼札をしたそれは戶別訪問除けであつたが物見高い江戶ッ子が止つて讀んで居るので肝腎の質屋のお客が極りを惡がつて引返して了ふお蔭で商賣は振はずイヤ何うしても選擧と云ふやつには困る
▲一つは淺草の某旅館では表へ何某君選擧事務所と大看板を出すと普通の泊客は之を見て遠慮するので昨今の書入時にお客は顏さへも見せぬイヤ何うも選擧には困る
▲犬養木堂君の各地に於ける應援演說は主として憲政會攻擊だと云ふが其の要旨は隨分手酷しく痛罵を試みて居る關西の某所でやつた演說筆記を讀んで見ると斯んな文句も見える『秕政百出せる前內閣の殘黨とも云ふべき憲政會の如きは徒に政權に戀々として其の醜を掩はん爲に蠢動しつゝあるが彼等は憲政を紊亂するの甚しきものである吾等は此機會に於て一擧に之を屠る爲には何人とも提攜を拒むものでは無い』と國民、憲政兩黨の關係を考ふると感情の融和は容易に望み難しとは云へ今春の不信任案提出以來木堂君の憲政會に對する揶揄、痛罵、罵倒は殆んど極端に達して居るが憲政會の未だ一矢をも酬いざるは政界近來の怪事だと評する者もある
▲栃木縣前代議士政友會の田村順之助君は自由黨以來の豪傑で小久保城南君等と並び稱せられて居るが寄る齡波には勝てぬと見え前齒も奥齒もスッカリ總入齒なので時々演說に調子がついて今一息『諸君』とやらうとすると入齒がコトンと拔け出してオヂャンになる事があるので是には流石の豪傑も弱り切つて居る相な

◇塹壕の朝──（露國中部戰線某地點にて）

●露國戰線を訪うて塹壕生活を觀るの記

軍需品補給は潤澤△△三年間の塹壕生活△地下に司令部將校官舍病院もある△△杜翁の臺詞に打興ずる將校兵士△△有り余る給與品の殘りが國許の家族へ郵送△△日本製のビスケットも大持て

今年の二月中旬から同月下旬に亙り獨墺軍に對峙して居る露國の戰線を巡視した先づ其の後方連絡及び兵站施設の遺憾なき事は流石に全露國の物資及び運輸交通の大部分を犠牲にしてあるだけに

■戰線に於ては運輸交通の便は固より各種の軍需糧食は聊かの缺乏をも告げては居らぬ戰線に達する鐵道は露都及び主として莫斯科より數條の縱貫鐵道を通し其間に於て幾條もの縱貫線連絡鐵道は恰も蜘蛛の網目の如くに亙り本陣地の後方には戰線に沿ひて大横斷鐵道が敷設せられ各方面の補充兵を移動せしめる遺憾なき設備がされて居る

▽戰線は　近來殆ど驅動なく殊に南露中部戰線の如きは開戰以來三年間居据りといふやうな氣長の陣地が有るそれなら平氣で塹壕生活を爲て居るかと云ふに決してそうではない敵の一戰は五六百米突の前方に在り一寸頭を出せばすぐ狙撃されるといふやうな切端つまつた對陣をして足掛三年間も敵味方共進みも退きもせずに陣地を維持して居る陣地は何處でも塹壕であるが年月が經つに從つて

■非常に完全なものに成つて來た今では壕の中に縱横に地道が開けて立派な半永久的の地下室で無數に拵へられて居る平地の下に司令部もあれば將校官舍もあり病院もあるが或る方面には發電所まで建設されて不夜城の如き地下道さへも有ると云ふ有樣である火藥庫や糧秣倉庫なども勿論地下に設られて居る將校などは凝滯の設備ある立派な

▽地下室　に住で居るし塹壕の中の兵士は三段位の棚の寢臺を拵へて其に寢るやうに成つて居る塹壕内の各處に大きなストーブが焚いてある上壕の上には木材を並べて土を蔽ふてあるから保温には理想的に出來て居る、壕内の生活は實に愉快らしく朝から樂器を弄んだり呑氣な俗謠などが響いて來る、平素露の將校と兵士は人間と動物ほど階級の距つたものであるが

■塹壕内の生活では　そんな風は少しもなく尉官佐官位まで兵士のお友達のやうに成つてトルストイやアンドレーフなどの小說を讀んで聞かせて居る處なども有つた中には巧みなツルゲネフものの臺白などを使つて樂しんで居る兵士をも見受けた兵士に對する給與は至れり盡せる觀がある、パンも充分あるし肉も充分あれば砂糖も澤山にある、ただ酒類は絕對に禁止されて居るから露西亞名物の

▽酩酊兵　士は見たくても居らぬ其の代りに砂糖や菓子などは豐富に配給され兵士の多くは其の使殘りの砂糖を大切に貯へて置いて郷里の親や兄弟へ郵送したり又休暇歸郷の際にお土產として持つて行くものが頗る多く露國の慰問事業は平時から世界有數のものである彼等の同胞には平時でも慘憺たる境遇に在る者多く常に慰問しなければならぬ有樣に在るから戰時に於ける

■慰問事業は痒い處に手の届くやうに物質なり印刷物なり精神的なりの慰問が非常に手厚く行届いて居る菓子ジャム、パン、煉乳、乾魚、獸、牛、果實其他熱帶地方から輸入される高價の飲料果物などまで兵士に分與される彼等は戰爭のお蔭で贅澤な塹壕生活が能きると云つて悦んで居る南方露國の農民などがとても前歯にも當てられぬやうな贅澤なものも時々彼等の口には這入るのである

▽日本製　のビスケットなども折々塹壕の中で見掛けた事が有る被服は日本兵の冬服と殆ど異りなく裏毛付の外套などは將校の外は著て居られ氣候も思つたよりも寒くなく戰線地方は略滿洲冬期の寒さと同一であるが多く塹壕中の生活だから彼等は殆んど寒さ知らずで越年して居るらしい被服靴手袋シャツ等に至るまで開戰當初は英米及び

■日本から多く輸入　されたものが給與されたが近來は殆ど自國の製品が渡つて居る將校は別として兵士等の塹壕生活は隨分不潔を極めて居る彼等の衛生は積極的衛生とでも云ふべきで有ろう非常に多量に喰べて歌つたり笑つたりするばかりで身體の清潔だとか住所の清潔だとか云ふ事に就ては甚だしく無頓著である、一年位顏も洗はず髮も剃らないと云ふやうな先生が

▽土の中　で目ばかり光からせて居るから人か穴熊か一寸見別けが付かぬ位である、休暇は一年乃至一年半に一度位許されるとの事である彼等は塹壕中で給與された金錢や食物を貯へて其れを土產として郷里に歸り妻子と共に樂しく一二週間を暮すことを最大の望みとして居る而しながら彼等が有ゆる困苦に堪へ不自由なる陰慘なる塹壕生活に甘じ聊かも倦める色の無い忍耐力は實に恐るべきものである

●突風、列車を捲く

岐阜地方の强風客車五輛を飛ばし二十一名の死傷者を出す

二十五日岐阜地方强風にて午後一時美濃國高田驛附近にて列車進行中突風の爲め機關車脫線し五輛の客車は田圃内に轉落し二十一名の死傷者を出せり（大阪特電）

△別報　二十五日午後一時四十分岐阜縣養老鐵道（私設輕便鐵道）發大垣行上り列車が同地を出發し進行中突然一陣の颶風吹き起り客車を顛覆し乘客中即死二名重傷三名輕傷十名を出せり

●杉野中尉の光榮敍勳

二十五日　天皇陛下には杉野中尉墜落慘死の趣聞し召され御菓子料を下賜されたるが引續き左の如く敍位敍勳の御沙汰ありたり（東京特電）

陸軍工兵中尉從七位勳六等　杉野治義
敍正七位（特旨）
敍勳五等授雙光旭日章

●淡路丸沈沒

廿五日夜玄界洋にて　船員乘客全部行衛不明

二十五日門司を發したる郵船會社北支那航路船淡路丸（二一〇四五噸）は同夜玄界洋に於て沈沒し船員船客全部行衛不明となれり原因未だ詳ならず（東京特電）

◇榮の雛鳥◇

府内各學校優等卒業生

府内各學校優等卒業生（1）小野田綾子（2）武藤たけ子（3）堤ゆき子（4）田中淑子（5）松村富次郎（6）山本途雄（7）志田千代（8）秀島よし子

♣汽車中の勉強　京城技藝學校　小野田綾子（十九歳）
綾子さんは學科も家事も裁縫もミシンもみなよく能きて平均點九點の最優等生、平素から溫和しく几帳面な上に男のやうに確乎した生徒、お父さんは開城久米商會主、これまで毎の晨も雨の夕もはる〳〵開城から汽車通學、朝はまだほの暗い午前五時頃から停車場に出で夜はトップリ暮れた七時過ぎに家に歸る、それでお針や勉強は多く汽車の三時間の車中で試みたといふ感心な人、綾子さんの感化で開城から通學する女生徒はみな優等生になつたと先生のお自慢、趣味はお花に茶の湯に盆栽草花いぢり崇拜人物は楠正成公と稅所敦子

♣紫式部がすき　京城技藝學校　堤ゆき子（十七歳）
堤さんは議政府の兄さんの家で育つた、お父さんは早く死なれた、手藝は少し劣るけれども學科は總てよく能きる、おしろ粉とあつさりした物が嗜きでお茶と活花とお琴もすき、歷史上の人物では紫式部卒業したら兄さんの許に歸るとニコ〳〵してゐる

♣ピンポンと菓子　鐵路補習科　秀島よし子（十九歳）
よし子さんは補習科卒業の最優等生で學校からも京畿道廳からもお褒美を頂いた、學科はすべて十點ばかりで裁縫もミシンも手藝も巧い、また萬事ハキ〳〵した態度で鐵路の高等

♣和歌と俳句を　鐵路補習科　田中淑子（十九歳）
淑子さんは學科も裁縫もよく能きて科を卒業して二年間此所に居た、ピンポンと水菓子が大好きで人物ですきは清少納言

萬事ハキ〳〵して居て溫和しい方、朝弟さん達の世話から炊事まで濟して學校に來る、喰べ物ではお餡の入つた甘いものが嗜きで茶の湯と花がすき、それに捕うはございますが……と前置して俳句と和歌がすき、人物では稅所敦子女史

♣音樂家になる　龍山元町小學校　武藤たけ子（十三歳）
たけ子さんは昨年お父さんに死なれて今ではお母さん獨り、學科はすべてよく能きるが殊に唱歌が最も上手それで大きくなつたら音樂教師になりたいとの事、朝は七時にきつと起きる、ナイチンゲールと果實がすき

♣算術がすき　龍山元町小學校　山本途雄君（十四歳）
學科では算術が一番すき、朝は七時に起床して家の手傳をする、世界中で乃木大將が一番すき、自分も大將のやうになりたい──お父樣は酒商

♣手藝が大好き　龍山元町小學校　志田千代（十六歳）
お父さんは陸軍の御用達、朝は六時から起きて家事の手傳や勉強にはげむ、學科は總てよく能きるが殊に手藝が一番すき、好きなものはお菓子と乃木大將夫人、夜は十時にキチンと寢て今年から技藝學校に入學する

♣商人志望　龍山元町小學校　松村富次郎君（十六歳）
富次郎さんは高等科卒業の最優等生お父さんが商人だから自分も將來は商人になりたいとて善隣商業志望、朝は毎日七時頃から起きて店の手傳や寫しものをする學科では算術と英語が最もお得意、崇拜人物は二宮尊徳先生、煎餅が大すき

●東北大降雪

青森以北の各地方は目下大降雪にて汽車の行衛不明頻々たり（東京電報）

●假店員　福岡縣築上郡當時群山本町通り[illegible]方より菓子五十錢を詐取したる[illegible]

●連絡船上陸客　二十五日夜[illegible]

■課稅事業規定

■募集規定

曇り時々晴れ

商況

債券現物特電
東京公債直取引
深川正米特電
東京期米特電
大阪株式
大阪三品特電
大阪期米特電
下關期米特電

雜報

●正米弱含觀
●期米今日迄の暴落に尚正米の之に連れ程度に迄下盡し居らざる
●化に地方人氣軟　市場下向に仁川
●今後の供給力は豐富なり高値を期待し難き
●露國貿易好望
●秩序回復市況頗る六留方引締
●資金の融通圓滿　物資の希望到らむ
●彼邊僻地方の粗製濫造問題
●京城より十萬留の露貨を買付
●撫順炭値上豫定　五十錢の値上
●鐵材更に引締む　一噸十四圓二十錢
●丸鐵五分に付九圓七十錢
●八番線昂騰　又た五十錢方昂騰
●鑄物類五分高
●染料は不味　京城釜山三十七圓
●氣作用にてヂリ〳〵下落　一二三圓方下落
●上の安値　二十圓以上
●柳綫位　灰色
●春夏の仕入服
●夏物の景況　今一ヶ月程は見定め難し
●製茶前途好況
●綿は依然軟調　地方よりの注文は漸次增加
●骸炭の新勢力　製造能力百四五十噸
●安母尼亞好況　使用高又漸次に增
●開墾具賣行減
●農事經營者の氣風一變
●種子は弗々　價格殆ど昨年の二倍

仁川期米　休會　二十六日前場

京城正米
京城雜穀
南大門の廻穀
釜山穀物（廿五日）

田中金兵衛　電話長一六二八番
米豆取引所仲買人　仁川　齋藤宗之助　賣買　電略（サ）又は（ヤマサ）
迅速確實　仁川　廣瀨正次郎

れ中自己の集金したる現金五十圓を横領費消し解雇されたる後依然店員なりと裝ひ明治町廣田某……店員大谷勝吉（二七）は昨年七月二十五日頃……なる京城旭町菓子商明月堂事矢田長助方得意先より十三圓餘りの菓子代を横領し其他平壤に……取調の上三月十九日平壤地方法院檢事局へ送致られたり

府尹の奥樣

▽何か世の中の爲めに盡したいと思ひますけれども子供の教育に追はれまして

若松府尹の家族

若松釜山府尹りう子の君をその官舍に訪ねいたしますと洋風の應接室に導いていろ〳〵お話し下さいました「私は學校を出ますと直ぐ當處に嫁ぎまして以來主人と共に各所の任地に轉任しまして朝鮮は

□本浦が始め でして其れから元山、平壤と何れも暫らくですけれども釜山に參りましてからは今年で足掛け八年になります、以前の任地は不便でもありますし又た當時は今日の樣に開けても居りませぬ時代でございましたから釜山に參りましては内地と異つたことのない樣な感じがしますし

▽▲寧ろ内地の田舍杯よりは餘程便利であります 何を申すも總領の娘が十八歳で本年の四月に高等女學校を卒業しますのを頭に男兒が二人に女兒が六人都合八人の子供を育てなければならぬと云ふ大役を負ふて居りますため何事も顧る遑はありませぬ、長男は十歳で尋常の三年生次が九歳で一年生、女兒は次女が

□尋常の五年 と次ぎが四年毎日四人の子供を學校に通學さしますと歸校すると其々復習もさせなければなりませぬので中々骨が折れますが然し子供が追々と成人しますのが何よりの樂みで一向苦には思ひませぬ、學校は

▽▲校舍も立派で設備も整つて居りますし先生方も皆克く出來たお方ばかり 其れから病院にもお醫師樣も立派な人々が在りますので子供の幸福なり又た親達も養育上に安心が出來ます之れが又た何より嬉しく思はれます私しも社會の爲めに相應な働きも致しとうも御座いますし人樣からも色々と御勸め下さいますけれども何を申すも

□多勢の小供 がありますし其々自分の手で教育を致しませねばなりませぬ身の上で御座いますから誠に濟まぬとは思ひますけれども譯をお話してお斷りを致して居る次第で御座ります、趣味としては讀書が好きで專ら文學的の書物を樂みに讀んで居りましたけれども近頃は中々さう云ふ暇もありませんです

▽▲宗教は組合教會の信徒ですが御當地には教會がありませぬから頓と御詣りも致しませぬ、社交の仕事と致しましては愛國婦人會の當地の委員部長にて御推薦を受けて居りますので東萊に參つて居られます傷病兵の慰問に春秋二回、當地の守備隊にも

□時々慰問に 委員の方々と御伴して參ります先日も寒中見舞と云ふ譯で皆樣と御一所に東萊に行きまして繃帶巻杯を傷病兵の方々に贈りました先づ夫れ位しか一向お役にも立ちませんのでございます」

良妻賢母となるべく

京城女子技藝學校の卒業式

私立京城女子技藝學校の第二回卒業式は二十六日午前十時十五分より擧行、來賓には入澤第一部長、金谷府尹、大山府書記及び生徒の父兄保護者多數臨席、式は

♣君が代の 唱歌に始まる井上校長の勅語捧讀について賞品證書の授與式あり、猶ほ學校長の訓示に次いで松永道長官代理入澤第一部長の告辭朗讀あり、また金谷府尹の祝詞等ありて十一時半式を終る、猶ほ本科

♣卒業生は 卅六名、別科裁縫部卒業生七名、補習科卒業は五名にして内小野田綾子、提ゆきよ、榊井尚子の三名は學術優等にて賞品を授與されたりまた本科卒業後補習科進學の者十數名、新入生八十名を加ふれば

♣新學期に 於て總數二百餘名に上るべくこれを大正四年九月の在校生徒五十餘名に比すれば蓋し非常なる發展なり、又在校生中には開城水原等より通學の者も多く本校の

♣教育方針 たる實科的女子教育が益々社會に認められつゝあるは歡ぶべき現象なり猶ほ卒業生の氏名（五十音順）左の如し

▲本科第二回卒業生 石井よし子、淺藤靜枝、小川治惠、奥川仲、大熊靜惠、尾上てふ、小野田綾子、小野田綾、小野千來、加藤君代、小林きみ、鄕右近かめの、佐賀野しげる、坂本梅、杉山綾子、高桑千鶴、辻こたけ、堤ゆきよ、恒川寒久江、豐田しげ、中井美佐保、中野もと、中島さく、内藤もと江、西田俊子、根本ひで、畑總野、原田あや子、原光子、藤井よし、松井ます、光田喜代子、村岡フサヨ、山内若、山下しづ

▲別科裁縫部第二回卒業生 井上まさ

よ、片山みつ、松尾てる、宮成よしゑ、物部光子、山口初、榊井尚子

▲補習科第一回修了生 恩地しか、柴みや、植木かほる、松原よし枝、四井みれ

♣地方各學校卒業式

◆私立釜山實習女學校 廿五日卒業證書授與式を擧行す卒業生は十三名にして内……小林友子の二女にして……光吉野、一年生……松本久榮、山科かみる……等なり

◆釜山幼稚園 釜山在東本願寺別院内の私立釜山幼稚園にては廿五日午前十時より保育證書授與式を擧行せり

◆釜山公立尋常高等小學校 同校にては二十三日午前九時三十分より卒業式及び賞品授與式を擧行したるが天野府尹其他來賓多數列席し頗る盛況を極めたり

◆群山幼稚園 群山幼稚園にては二十三日午前十一時より保育證書授與式を擧行したり

◆群山公立普通學校 同校にては廿三日午後二時より第九回卒業證書授與式を擧行せり

◆大田公立小學校 同校卒業證書授與式は廿三日午前十時廿分より同校分教場にて擧行

◆群山公立實科高等女學校 同校にては二十四日午後二時より第一回卒業證書授與式を擧行したり

◆群山公立農業學校 同校にては廿四日午前十時より第六回卒業證書授與式を擧行せり

◆平壤簡易商業學校 同校に於ては三月二十四日午後八時より南山町本校に於て第四回卒業證書授與式を擧行せり

◆平壤第二尋常小學校 同校卒業生は高等科卒業生男三十五名女二十名、内優等男五名女三名尋常科卒業生男三十八名女二十名内優等生男五名女四名にして五ヶ年間皆勤者高等科男一名尋常科男一名なり

◆平壤第一尋常小學校 同校に於ては廿四日午前十時三十分より第五回生徒卒業證書授與式を擧行したり

數學講演會

目下入京中なる京都帝國大學助教授和田健雄氏は二十七日午後二時より京城中學校内にて「數學雜話」と題する講演を爲す筈にて來聽隨意なりと

落屑より咯痰が危險

猩紅熱病菌に就ての新らしい發見

警務總監部衛生課原技師の研究

警務總監部衛生課の原技師は近頃毎日三淸洞の衛生試驗室で猩紅熱に關する諸般の試驗をしてゐる、是に就いて同技師は語る、研究の内容は未だ社會に發表する迄には進行してゐない、目下極力

□研究中 なので過般第一回の研究結果を報告して東都の諸大家にも意見を求めてゐる次第であるが、滿洲では昨今懸賞で猩紅熱の病菌其他に就いて新らしい發見に努めてゐるが私は是迄總督府醫院などで直接入院患者に觸れて檢べて見たところ

□病菌に 就いては極力鏡檢の結果此程迄に發見することを得たとて強い確信を得たものらしく喜こんでゐる、尙其の病菌の培養を試驗して見たが是も稍成功したさうである、尙ほ同氏は猩紅熱の傳染には空氣中の塵埃が最も多く媒介することを述べてゐる從前は患者の

□皮膚の 落屑が最も危險なものであると信ぜられてゐたが落屑よりも患者の咯痰の方が一層危險であることを確め得たことを説明してゐた、而して菌の培養が進んで成功すれば或は豫防法としての血淸療法に迄研究を重ねて見たいものであると力んでゐた

進明女學校卒業式

私立進明女學校卒業式は廿六日午前十時より擧行、同十一時式を終れり來賓の主なる人には松永道長官、宇佐美長官代理上田視學官等ありて鮮人父兄保護者も亦多數臨席したり卒業生は本科廿四名、技藝科三名、普通科廿三名總計五十名にして年々卒業生增加の傾向あり

三年前の爆藥で三名の死傷

三月九日午前十一時頃平南魚波摩郡に居住せる韓昌燦の妻李氏（二五）が家内の掃除をなせる際三年程前に或る内地人より貰ひたりと云ふダイナマイト一個を發見し危險物と知らぬ李氏は何心なく室外に投棄せしに轟然爆發して李氏は重傷を受けて現場に卽死し李氏に背負はれ居たる幼兒は頭部外二箇所に負傷し尙ほ附近に居合せたる韓昌燦も數箇所の打撲傷を受けたる椿事ありたるがダイナマイトの出所に就ては目下其筋にて取調べ中なりと

讀者文藝（一等には五十錢の書籍切手を呈す）

〇小兒と凧（一等）　仁川本町四　小柳　四吉

▲佳作 龍岩浦武良富美子、龍山岡本小華子、京城朝鮮坊、平北宣川蒲部正典、仁川大忠生、京城山田下齋春天、京城田村生、凡吉平塚、京城府村天外、大邱民鄕生

△締め切り

△次回題 上圖の通り

全羅乘組員歸着

去月江原道靈津沖に於て坐礁沈沒せし朝鮮郵船會社汽船全羅丸乘組船員一等運轉士及び機關士以下廿六名は廿三日同社汽船黃海丸にて釜山に著するが船長及び事務長は跡始末のため暫時遭難地に殘留の筈也と（釜山）

東國名山記發賣

東國名山記は朝鮮内の名山を純漢文にて簡明に記述したる珍書を往年外國語學校朝鮮校友會にて飜刻し同好者に頒ちたるが尙百部の殘册あるを以て廣く同好者に頒つべく今回廣學書舖より發賣することとなれり

たべもの

▲馬鈴薯の味噌漬 馬鈴薯の皮をむき一分ぐらゐに切り五分間ほど茹でて水をよくきり別に味噌に砂糖少しをまぜて摺鉢で摺り茹でた馬鈴薯をその中につけておきます柔かで美味しいから老人や子供に喜ばれます 馬鈴薯は茹でたあとで皮をむいてもよろしいです

演藝案内

明治町 電話二六〇 浪花館
○東京大阪落語若手揃大一座來る △毎夜午後七時開演 演題△浦島（三勝）△羽織女郎買、△曲手踊（新舞）池田猪買（ひさご）△天女音道樂三府浮世節（歌女）△危險術（明一）△音曲噺（右朝）△落語（圓輔）△落語手踊（郡輔）△三十石夢の通路（里鶴）△大切滑稽喜劇『松竹梅』

京城本町一丁目 早川演藝部直營 有樂館
天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店早川演藝部 △三月廿二日より開館特別大興行

京城壽町 電話五七八番 壽座
△一番目 だんだら染 △二番目 滴井づゝ △三番目 三年後 △大切 風車 入場料 △一等七十錢 △二等五十錢 △三等三十錢 小供半額

櫻井町 電話八七三 大正館
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 三月廿三日より提供する特別三大寫眞 ……新派大悲劇『女舞臺』……大活劇『第四快漢ロロー』……

東京米穀商品取引所仲買人 東京市日本橋區蠣殼町一ノ二 野瀬久次郎商店 電話浪花（五一〇二、五一〇三番）發信電報略號（シメ）又ハ（トウケイシメ）

社員採用 簿記に精通したる者一名 蠶絲に經驗ある者數名 右四月中旬開設すべき京城營業所詰として採用致度に付希望の者は給料望額を記し自筆履歷書添付大田驛前東蠶社内市川彌兜親展にて御申込被下度候採否は至急回答す 蠶絲移入業 東蠶社

懸賞 語呂合 當選發表 選者 香川蓬洲先生 薄田無愛樹先生 中井藍微塵先生 選評立會 大阪毎日新聞社 大阪時事新報社

題 ハカリ印のヘブリン丸

第參等（參拾圓勸業債券）鹿兒島縣日置郡和田尋常小學校内 原田英三君 濱に幾日も寢ぬ俊寛

第貳等（五拾圓帝國公債）京都市御幸町御池上ル 伊庭正藏君 話に郷里の出る新參

第壹等（壹百圓帝國公債）東京市日本橋區濱町三ノ六 神山千代子君 柳散る井戸出る銀簪

今回の『語呂合』募集は非常の盛況を呈し投稿者諸君の御熱心の程深く感謝いたします、其選定に就ては立會評者と共に愼重周密なる調査の結果壹千句を選拔し上位三句を茲に掲載すると共に一言御挨拶申上ます 選者 香川蓬洲

かぜねつの最良藥 本舖 合資會社 參天堂藥房 大阪市東區北濱一丁目

佐々木清綱氏は昨年九月十三日釜山鎭永嘉臺下に於て電車轉覆慘事件に關し釜山名の喪告の貧にして家族の窮迫せるに同情し無料にて熱心治療の任に當られ以て我等及び家族を救濟されたるは實に感謝に堪へず茲に謹て感謝の意を表す 大正六年三月廿五日 河宗在外參拾餘名

商品切手 諸テレサル 表裝包紙既成品 梅堂製品特約販賣希望ノ方ハ有利ノ御相談可申候 電話中二九五三番 京都藥師鐵屋町 中村椿堂

梅見 旅行 芝居 人込 食後 必ず二三粒 カオール オリヂナル本舖 安藤井筒堂

富豪たらんとせば讀め!! 成金讀本 確的利殖 躊躇は成功の敵也 東京日本橋區阪本町十八番地 公債株式現物問屋 株式桐生屋店 電話浪花 成功會を設置し東京株式賣買の便宜を計る

髪をしなやかに 丈長がく 美しく房々と 漆のやうに 黒くするは 廣い世界に パール煉香油があるばかり ……とは…… パール愛用者がおつしやる實話であります 本舖 東京 平尾銑也商店 關西代理店 大阪 平尾贊平支店

明君道中記

第九十七席　田邊南龍口演

家光公は目黒より御歸城になつて直に大久保彦左衞門を召出し、幸松丸の素性をお尋ねになりましたから彦左衞門より委細を申し上げる、保科正光をお呼出しに相成り幸松丸の成長の次第をお尋ねになる、正光は三歳の時より御預り申して今年廿歳に相成るまで御養育したことを申し上げました、始終を聞いて家光公『我が幸松丸のことを知らざるにはあらねど是まで捨置いたるは予が誤であつた、其方が今日まで養育いたしくれた段家光過分に存ずる、此の上は改めて幸松に目通りを申し付け宜きに執立遣はすであらう』と仰せあつて其の翌日正光附添幸松丸始めて將軍家の御前へ出まして御兄弟始めての御對面、時に大久保彦左衞門始め居流れたる人々一統恐悦を申し上げました、茲で出羽の山形に於て二十萬石を下し置かれましたが、後奥州會津若松に於て二十八萬石を賜はり從四位左近衞權中將保科正之と申し上げました、是會津家の御先祖でございます、が是は後のお話しで、偖寛永九年正月二十四日秀忠公薨去あらせられました、豫て斯くあらんと思召して居られた家光公も今更の如く歎き給へども詮方なく、直に役人衆へ御沙汰になりましたから第一番に酒井讃岐守忠勝、土井大炊頭利勝、井伊掃部頭直孝、松平右衞門太夫正綱、青山大藏大輔、抔追々登城に相成りまして御愁傷を申し上げる、倚貴人高位の方々が御死去になつても直には發布いたさぬもので暫く經つて沙汰をいたすものでありまするさうで、井伊土井を始め諸役人が協議の上先づ當分薨去のことを披露いたさずに置うと云ふ時に、傍より進み出たる酒井讃岐守忠『是は以ての外のことである、薨去あらせられしを秘し置くは諸侯の手前も如何、斯樣なことは明かにいたすもので、早速披露いたし諸侯を召出し親しく遺言を傳へ御遺物を分け與へて然るべく、餘人は知らず讃岐守は斯くすると強て云ひ張りまする故乃ち無據是に一決いたして其の夜の内に御表へ御披露になりましたから、諸侯方は大いに驚きました翌日悉く登城に及びまする、眞中仙臺侯越前池田の兩家蜂須賀淺野毛利上杉佐竹立花等の方々取急いで御登城に相成る、此時に秀忠公の薨去のことを申し傳へて遺物の品々を諸侯へ分ち與へました、是が爲に諸侯方は酒井讃岐守の取計ひを大いに感じました、此時家光公御近臣に對ひ森川出羽守は如何いたした　臣『只今森川の家老どもより御屆けがございましたが出羽守重俊は殉死仕りましたやうにございまする』と聞いて家光公莞爾お笑ひ遊ばされ　家『何に出羽が殉死をいたしたとな、左もあらう父君薨去の後は生ては居られまい』と仰せられたが、何う云ふ譯だと云ふと家光公が竹千代と云つた頃、御庭で騒いで居りますと森川出羽守が餘り騒しい故お靜になさいと小言を云つた、スルと氣性の勝つた竹千代樣で此時出羽守も勃然といたし、只今お父上へ御用談を申し上げて居る、騒しいお靜になさいと申したが無理でござるかと持つて居た扇子にて、小兒と侮つたものか竹千代樣の頭をポンと撲つた、スルと竹千代樣が大層怒つて汝出羽覺ねて居れ、とハタと睨ん、出羽守は冷笑つて何に此の小倅がと思つて居たが、家光公の御世になると何かにつけて幸いことばかり、秀忠公が御存生中なら格別薨去になつて見れば必ず祟りが來るであらうと思つて殉死と名付けて切腹をしたものでございませう

京城府永樂町一「商品陳列舘迎坂の上」
花柳病　皮膚病　須古醫院　電話二一〇二番

春が來た〳〵　木村屋パンとお菓子たもとに野へ山へ　(京城明治町　電二八七〇)

入院　臨產　京城府大門通二丁目七番地(韓國農工銀行前)
胃腸病院　電話一六五九番
院主　佐々木杏造

M印　品質本位
大阪唐物町四　飯田商店

質　堀佐營業所
京城黃金町二丁目(永樂町停留所北入)
電話六三九番

三月廿八日九星
舊暦二月六日己巳　本命九紫

[illegible]

柳芽を吹く
春先は病の萠す時季なれば
必ず持藥に
婦人良藥
中將湯を召し上り
血行を調へ元氣を增して
婦人病を起さぬ用意が肝要

婦人衞生手引　御申越次第無代進呈(但要郵券二錢)

主效
子宮病　婦人神經　逆上頭痛　夜眠れず　腹加答兒　下腹痛み　產前產後　難產流產　月經滯り
血の道　氣ふさぎ　癇高ぶり　內膜炎　こしけ　腰足冷込　つはり　月經痛み　血ぶとり

定價
二日分二十錢　四日分卅五錢　一週分六十錢　二週分一圓十錢　三週分一圓六十錢　五週分二圓五十錢
▲加減藥あり容態詳しく御申込あれ
加減藥定價　一週分七十五錢　四週分二圓五十錢

本舖　中將湯
東京日本橋通四丁目　津村順天堂本店　電話本局六十二番六十三番　振替口座六〇八番
大阪市堺筋大寶寺町　津村順天堂支店　電話南二十五番　振替口座四五六番
▣中將湯は世界到處の藥店にあり市內配達無料

新學年開始——入學最好機
早稻田大學講義錄
總長大隈侯　名譽學長高田博士　學長天野博士　指導
▣滿天下の小學卒業生諸君は陸續入學を申込めり
早稻田中學講義
大隈總長より入學者に獎學メダル　贈與其他特典多大＝速に決心せよ
早稻田商業講義
▣今回講義全部改りスグ其日から實際の役に立つ
申込次第　見本附規則書　直に送呈
東京牛込早稻田　早稻田大學出版部　電話番町三七四　二〇二二

生徒募集
來る四月一日より新學期を開始すべきに付新に生徒四十名を募集す入學希望の向は入學願書を至急提出せらるべし
詳細は本校規則書熟讀せらるべし
釜山實習女學校

模範　牛乳
ニウソ　石鹸　洗粉
場主　醫學　肥塚正太
京城蓬萊町四丁目　東亞牧場　電話五二番

消化と毒けし　仁丹
花見遊山に　仁丹　御携帶が肝心
金言　至誠は万世不朽の人道　(仁丹)

資本金五百萬圓
頭取　安田善三郎
京城本町壹丁目
株式會社百三十銀行京城支店
電話五八番　振替貯金京城一一九三四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

金露
攝津灘　大塚釀造所吟製
發賣元　京城本町二丁目　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六　東京パイン萬年筆出張所

◎營業地域擴張廣告
是迄當支店の營業地域は京城市內に限り居り候處今般仁川、大邱、平壤其他鐵道沿線の附近主要地にも擴張することゝし土地建物に對し低利にて金融可申上又建物建築請負並に月賦償還建物建築可仕候間續々御申込被下度希望致候
大正六年三月
京城府黃金町二丁目五十五番地
東京建物株式會社京城支店
電話一六八一番　一三八一番　振替貯金口座一八八
創立明治二十九年　資本金五百萬圓

京城日報
第三版
三月廿七日 (夕刊と合せて八頁)
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介

京城日報

教育革正論(一)
朝鮮教育革正の過渡期

韓國併合以來、茲に七星霜に垂んとし、朝鮮人が我が聖皇統治の下に、無偏無黨、一視同仁の恩澤に浴し、日本人と同化し、倶に與に上下一致結合の實を擧げつゝあるは、朝鮮總督府の政治其宜きを得るに由るものありと雖も、抑も亦聖天子御稜威の致す所に由らずんばあらず。吾人は此點に於て、首として總督政治の成功を一言せざるを得ざる也。

然りと雖も、韓國併合は朝鮮に於ける政治改革の第一歩に過ぎず。苟も朝鮮の政治にして改革せられたる以上は、之と同時に朝鮮人の生活的狀態も一變せられざる可からず。朝鮮人の生活的狀態にして一變する以上は、其の思想精神も亦一變すべきこと、必至の勢ならざるを得ず。孔丘云はずや、齊一變せば魯に至らん。魯一變せば道に至らんと。朝鮮人は併合と同時に、既に其の政治を一變せり。政治にして一變する以上は更に一變して社會改善と爲り、再變して思想界の改善と爲るべきは、自然の到著點なるを以て也。

吾人を以て、今日朝鮮の社會的狀態を察すれば、正に是れ新舊思想改善の一大過渡期と謂はざるを得ず。此時に當り、朝鮮人にして自覺せずんば、則ち已む。苟も朝鮮人にして自覺し、日本人と共に日本の文明を同化し、日本人と共に其の生命財産を保全し、日本人と共に其の自由權利を獲得し、日本人と共に其の歩趨を同うし、其の態度を一にし、日本人と共に世界列國の間に立ち、進で其の品位、勢力、信用を維持せんと欲せば、其の生活的狀態の改善と同時に、思想精神の向上的改善、向上的進歩を期せざる可からず。朝鮮人にして思想精神の向上的改善、向上的進歩を期し、日本人と其の共同生活を共にせんと欲せば、今日に於て宜しく精神的に自覺せざる可からず。日本的に自覺せざる可からず。而して精神的に自覺し、日本的に自覺せんと欲せば、朝鮮人をして其の儼ふ所を知らしめざる可からず。

朝鮮人をして其儼ふ所を知らしめんと欲せば、首として朝鮮人の思想精神を支配したる支那形式的文明の宿弊を打破し、實用的文明、實用的學問の眞意義を咀嚼し、消化し、以て其の福利を增進することを期せざる可からず。朝鮮人にして第二十世紀に於ける實用的文明、實用的學問の眞意義を咀嚼し、消化せんと欲せば、今日に於て宜しく朝鮮教育の主義方針を確定せざる可からず。今日は朝鮮教育の革正を圖るに於て、恰かも其の一大過渡期に屬しつゝあるを以て也。

送迎の禮
山縣生

長谷川總督が南鮮巡視の途に上るに際し、送迎謝絶の旨を通達せしめられたるは、實に時弊を匡正するの善事で、其好き影響は總ての方面に及ぶであらう。禮儀は平和と秩序を維持するに大切なるは言ふ迄も無けれど、度を過ぐれば却て弊を伴ひ、これが爲めに吾人の利益と幸福が害せらるゝは吾人が平常屢々經驗する所である。送迎の禮の如き、長上先輩に對する吾人の敬意を表し、若くは親しき人に對する吾人の愛を現はすものにして、之を行ふは美事なれど、今日迄の習慣の如く、僅々數日の旅行に當りてすら之を行ふは繁に堪へざる次第である。特別なる公式の出發、到著若くは遠く海外への出發、海外より歸還の際の如き或は名殘を惜み、或は歡喜を表はす爲めに送迎するは甚だ可、又之を爲すが至當なれど、然らざる場合に之を爲すは送迎せらるゝ者にとりても送迎する者にとりても相共に迷惑の至りである。時間を空費するのみならず、其質を知らず識らず虛僞の罪を犯すものである。

本文の記者は斯く信じ、且つ平常多忙にして閑時少なきが故に、特別の場合を除く他、送迎を爲す事が無かつた。然も多くの人が之を爲すに拘はらず、我獨り之を爲さゞるが故に、長上先輩より倨傲不遜の誤解を受くることもなきかの虞れが無いでもなかつたのである。因りて今長谷川總督が送迎を差止められたるを衷心より歡ぶ者である。思ふに此歡びは多數の人が頒つ所であらう。京城に於てのみに止らず、送迎の禮の爲めに煩はさる場合は地方に於ても甚だ多かつた。名もなき小官吏の巡視に當りてすら、可憐なる小學兒童が送迎に引張り出され、或は燒く如き炎天に、或は膚を刺す寒風に立たさるゝが如き惡習は今後一掃さるゝであらう。これと同時に記者は官民共に總督の意を諒察し、餘りに頻繁なる場合に形式的なる送迎の宴會は大に差控ふる事を切望する。一の宴會の多くの場合に主客共に惱むは一般の所。然も今日迄之を差控ふる能はざりしは、習慣に拘束されたるに因る。此時間と金錢とを浪費し、害ありて利なき惡習は早く打破すべし。

企業熱の聲に對して
白岳生

一 幾何の企業熱

△企業熱果して幾何ぞや。企業熱の聲は昨秋以來頻りに傳へられた。而して極めて漠然たる聲であつた。世人の之に對する態度と見解とは冷熱賛否區々別々の觀がある。或る人々は半島が一朝にして工業地と化するが如くに熱して居るかと思へば、又之に反して內地好景氣の餘沫に過ぎぬと冷然たる人々もある。或は農工取捨調節の論に沒頭して居る人々もある。

△企業熱勃興の原因に遡つたならば內地經濟界の活況、朝鮮に對する政治界經濟界等の諸方面より錯綜し來れる一種の好人氣、朝鮮が必ずしも天惠豐かなりといふにあらざるも安全なる投資地として又未開拓の地として將來に望を囑し得るといふ樣な意味で內地資本家の注目を惹くに至つたこと等多岐に分るゝであらう。併し乍ら一昨年來、殊に昨年來、內地經濟界が輸出貿易の好調と資金の充實と相俟つて、前古未曾有の繁昌時代を現出し、其餘勢の向ふ所、遂に朝鮮に溢れ來つたといふことは、原因中の最大なるものゝ一であらうと思はれる。此勢であればこそ企業上に煩累多きが如く考へられた朝鮮に、駸々乎として潮の寄するが如くに、事業振興の機運を促しつゝあるのではなからう乎。卽ち他動的受動的の現象と見るべきである。

△牆を隔てゝ角を見れば、牛在るを知る。漠然たるものではあるが既に企業熱の聲を聞いたからには、其實體の存在を肯定せねばならぬ。其實體に依つて企業熱の聲下に潛在して居る力の活變も明白にさるべきである。其提徵として大正五年七月一日以降六年二月末日に至る會社成立許可認可の件數を調べて左の表を得た。

月	會社名	位置	資本(千圓)	業目
大正五年				
[illegible]月	朝鮮製肥工業株式會社	平壤	一〇〇	肥料・硫酸製造獸骨の加工等
[illegible]	合資會社大豐社	京城	三〇	土木建築工事請負業
同	橋本合名會社	釜山	二〇〇	船舶運送業
同	島津合名會社	密陽	五〇	動物肥料水產物販賣等
同	咸興電氣株式會社	咸興	四五	電氣供給等
十一月	株式會社中村組	鎮南浦	三、〇〇〇	海陸運送業等
十二月	福田合資會社	鎮南浦	五〇	農業漁業等
同	合名會社石崎商會支店	京城	一〇〇	木材販賣業(本支店資本區分不明)
同	唐津物產株式會社	忠南唐津	二〇	農具類の販賣
同	朝鮮土地產業株式會社	大邱	五〇〇	荒蕪地開墾、製品の販賣、宅地建物の賣買貸借等
同	大邱起業株式會社	大邱	二〇〇	宅地建物賣買貸借・土木建築請負等
大正六年				
一月	小野田セメント株式會社支店	平南江東	一、八〇〇	セメント、石灰製造販賣(本支店資本區分不明)
同	仁川船渠株式會社	仁川	一五〇	船舶の新造修繕等
二月	朝鮮製糖株式會社	平壤	五、〇〇〇	甜菜製糖販賣等
同	朝鮮燐寸製造株式會社	仁川	五〇〇	マッチ製造販賣
同	忠南苧布株式會社	扶餘	一二〇	苧布買入販賣等

△更に前表の各會社を資本によつて區別すれば、橋本合名の二十萬圓、中村組の三百萬圓、小野田セメントの百八十萬圓、石崎商店の十萬圓は全然內地資本、次に製糖會社の五百萬圓、朝鮮土地產業の五十萬圓、仁川船渠の十五萬圓、燐寸會社の五十萬圓は內鮮資本の合同であるけれども、製糖會社は其大部分、土地產業は其一部分が內地資本になつて居る。而して其他の會社が純然たる朝鮮資本に因りて成立されて居る。卽ち大規模の企業は悉く內地資本に因るといふ事實を示して居る。开して表中の總資本額を一千百八十六萬五千圓とすれば、其內に含まれたる朝鮮資本の如何に僅少であるかを知ることが出來る。

△又前表の八箇月間に於て成立したる會社十六件、資本總額一千百八十六萬五千圓を以て明治四十四年一月一日卽ち會社令施行以來大正五年末に至る六箇年間に成立したる會社百七十件、資本總額二千七百三十八萬七千餘圓に對照する時は、最近に於ける投資額と企業の規模とが從來に比して著しく增大せるの傾向あるを看取するに難くない。

△今更に一歩を進めて、現在企業中に屬し、將來に實現せんとする各種企業の狀況を一瞥するは、現下企業熱の大勢を察する上に於て此際省略し得ざる道順である。左表は即ちそれである。

社名	位置	資本
朝鮮紡織株式會社	永浦	一、〇〇〇、〇〇〇
朝鮮製粉株式會社	平壤	一、〇〇〇、〇〇〇
東洋煙草株式會社	大邱	一、〇〇〇、〇〇〇
滿州製粉株式會社支店	龍山	四〇〇、〇〇〇
仁川瓦斯株式會社	仁川	三〇〇、〇〇〇
江景水產株式會社	江景	五〇〇、〇〇〇
合資會社山岸天游堂	京城	五〇、〇〇〇
朝日染色株式會社	京城	五〇、〇〇〇
合資會社淸水醬油醸造場	馬山	三〇、〇〇〇
朝鮮製藥合資會社	京城	二〇、〇〇〇
鎭海水產物株式會社	鎭海	二〇、〇〇〇
鳥致院共立倉庫株式會社	鳥致院	一五、〇〇〇
合資會社咸興魚菜市場	咸興	一〇、〇〇〇
合資會社鏡城組	鏡城	一〇、〇〇〇
日本タルク株式會社支店	元山	不明
合資會社五友社	全南	不明
株式會社多田商會支店	新義州	一〇、〇〇〇

此等は總べて許可申請中に屬するものであるが、本表に於ても規模の大なる企業の大部分は內地資本家の投資を待つて初めて成立して居る。

△以上の二表を通覽するに、製糖會社の五百萬圓と三四會社の百萬圓を除けば其他の企業は何れも小資本小規模であつて、之を近來の大資本大規模に向ひつゝある一般事業界の傾向に對比して觀察する時は、甚だ心細い感あるを免れない。云はゞ朝鮮の事業界は漸く熱の發作を見たるに過ぎないといふのが實狀であらう。但だ幸に其熱が順調に進みつゝあるは喜ばしい。元來熱なるものは力の源を作すけれども直に力そのものではない。之を導いて力を起す手段を講ぜねば力の働きは示されない。現下の企業熱も亦然りである。卽ち今日事業そのものゝ振興と見るは尙早である。盛なる事業の實現を見んが爲めには、此熱を更に一層高め、强め、摘め、之と同時に研究と調査と幾多の經驗とを積まねばならぬ。

在滿朝鮮人會の設立
在滿鮮人實に三十萬に達す
赤塚奉天總領事の同情と研究

南北滿洲に在住せる朝鮮人は其數實に三十萬に達し而かも今猶ほ年々激增の情勢を示して居る。斯く移住者は近き將來に於て帝國の對滿蒙政策上に一新紀元を劃し延ひて重要なる局面を現出展開す可きは蓋し疑ふ可らざる事實である。然らば滿洲移住鮮人の現狀は如何、其調査、今如何なる大方針の下に彼等を指導誘掖す可きか等は確に一日も忽諸に附す可らざる當面の緊急問題、現に奉天總領事赤塚正助氏の如きは最も熱心なる研究家にして在滿鮮人の保護、指導、救濟方法に關し卓越したる高見を有して居らるゝ。我社主催の滿洲視察團員諸君も今次の機會に在滿鮮人の現在及び將來に就て十分の研究あらむ事を切に希望し置く

鮮人移住の沿革

多年の惡政と生活難に追はれて國境附近の朝鮮人は既に一二世紀前より國境を越ゑ滿洲に往耕せし者尠からずであつたのが日露戰役後は移住益々旺用し來たに日韓併合後は單に國境地方計りでなく遠く慶尙道方面よりの移住者も多くなつた。斯く移住者の激增した理由は左の如きものであらう

一、世運の進歩と共に生活一層困難となりたる事
二、地價の騰貴に乘じ田畑を放賣し割安の滿洲に土地買收を試みし事
三、多少耕耘の色彩を帶べる不平の徒の移住したる事
四、移住仲介者が手數料を取らん爲め事實を誇張し無智の徒を誘致せし事
五、日韓併合後は鮮人も帝國臣民となりて延ひて日本官憲の保護を期待し幾分安心し移住するに至りたる事
六、米價は高價を持續し水田耕作には適好の時機なりし事

在滿鮮人の職業

三十萬を下らざる在滿鮮人の大部分は水田耕作者で彼等は朝鮮に於て修練した水田耕作の經驗を唯一の資本とし滿洲に移住して土地を求め或は支那人の小作人となりて水田耕作に從事したのである。故に多數鮮人の在住せる地方には廣濶なる水田の存在し多量の籾の產出すると同時に地價も自然騰貴するに至つた。斯の如き鮮人多數の部落及び重なる市街地附近には鮮人生產の籾を賣買する鮮商又鮮人を相手とする旅館業、雜貨商等の在住を看るも在滿鮮人の多數は農業勞働者で。元來支那人の畑作の外水田耕作に關しては何等經驗なく又智識なき其缺陷を突いて鮮人農業勞働者移住を保護督勵し我官憲の手に依り助長せしむる事となつたら前途頗る有望の策であつて赤塚奉天總領事の如きも玆に著眼熱心に攻究しつゝある

鮮人保護の急務

水田耕作の農業勞働者としての朝鮮人は滿洲開發上缺ぐ可らざる至寶なると同時に個人としても相當有望の立場にあるが。如何せん鮮人小作人は比較的過重なる小作料を地主の支那人より强要せらるゝ外支那人より融通を受くる金錢に對し每年秋期に於て元利金を支拂ねばならぬ事に定められ、而うして鮮人が普通支那人から融通せらるゝ額は概して百二十元見當の所だと云ふが之れには三割の利子を附せらるゝが故結局鮮人の負擔は百五十六元となり斯くては働きぬいだる骨の汁は全部支那人から吸ひ取らるゝ樣な始末となる。爲めに移住鮮人にして多少の蓄財を爲し居るが如き者は今日迄殆ど看る事を得ず彼等は一定の居所に永住する能はず各地に轉々しつゝあるの情態である

在滿鮮人の保護

斯の如く憫れむ可き境遇に在る在滿鮮人を根本的に救濟するには現在多數の鮮人の在住せる地方例へば通化、懷仁、臨江、輯安、興京、柳河、海龍等に廣大なる水田適當地を支那人所有者より買收し鮮人農業勞働者をして小作せしむる事にあるが。斯の如く大規模の經營と大資本の投下は農業關係の會社、銀行を煩はす外に途なかる可しと思惟さるゝ。所が斯る大計畫でなくて目前の急を救ふ爲に奉天では現に左記の樣な事が發起せられ赤塚總領事の贊助に依り愈此程實行に著手せられた。其は『滿洲朝鮮人會奉天本部』と稱し其設立主旨は

朝鮮人會本部設立旨

帝國統治下に在る朝鮮人にして滿洲に居住する者は言語、文法、風俗、習慣を異にし公共事業處理上亦特別の機關を必要とするを以て本會を設立し官廳監督の下に共同の利益を保護促進せん事を期す

奉天在住鮮人の有力家朴昌殖外四名の鮮人連名にて此程出願、愈々三月中旬を以て赤塚總領事より正式の認可を得たるもので朝鮮人會頭の事業として今回の我社視察團の歡迎を爲し猶ほ今後費用の許す限り各要地に支部を設立する計畫だそうである(先發特派員上田生)

支那政府は支獨邦交斷絶後獨國民の陳提案に依り支獨斷交の始末を諭せる宗文の布告を配布し更に內蒙六盟長及び各旗札薩克をして蒙民に曉諭し西藏、甘肅、青海、伊犁、新疆等に在る者が往々聯合國に對する宗教上の……せるが此宣慰使には東西兩蒙宣慰使を充用し新たなる選任を行はずといふ尙目下北京に在る蒙古王公は斷交に……

堺 安値 出來高五萬七千百石

日報詩壇

○寄高田小芥東歸　限部　矢山
幽棲無俗事。欲案讀仙經。世路全名節。庭蕤性靈。花痕移檻白。嵐氣撲籠青。蛙蝶爲儔侶。悠遊自忘形。
評曰 不弄機巧。只是滯遠。詩與小芥其人相似。

○立春　藤倉　藤蔭
初知按曆歲新更。何事律回春未生。路上殘冰今尚固。寒鶯深鎖漢陽城。
評曰 今春漢陽殘寒實可想也。

日報歌壇

(君は歸る)　長　鼓
君は歸る氷雪の中に身を燃やすに堪へずと若き春を惜みて
若き我が此捨てましぬ春の曉きみがゆく方へ見送れば
果敢なきわが此の頃の生活を愍かして僞かに君歸りゆく
途に迷ひ失れいまだ遠からずさ 君は歸りゆくかな
君は歸る一歩一歩に春ふかき丹の顏して笑つぼ女の國に(高野兄に)

春霜
―五の日十の日會―

○拔く葱のコハいばかりや春の霜　浮碧樓
○下駄を洗ひし雫の春の霜　田柿
○空船篩鳴りの春霜　此耳
○火の氣のない日曜の別れ霜　句平
人力客見送りての徒歩の立ち春の霜　鳥堂

保險金受領廣告
一金五百圓也
被保險者 三輪二九郎
右者日清生命保險株式會社と保險契約致居候處今般死亡に付頭書の金額迅速に交附を受け候玆に同會社の懇切確實なる事を謹告候也
大正六年三月二十日
京城府 三輪家族

再版 應用化學研究會長 鶴田脇太郎著
實用工藝花學最新製造法
極めて小部數で最も手早く多大の利益を得るに付き學理應用の製造業に限る
東京市神田區表神保町三番地 芳文堂書店

實行寺春溪著 修養訓話
美文と其作り方 蘆風逸史著
手輕な料理と菓子の拵方 江口天韓著
修養處世道話 奧村繁次郎著

運動用具は京城シノサキに有り
テニス道具 各種
京城本町二丁目 篠崎運動用具店

朝鮮諸官廳受驗叢書
京城專修學校教官 安達大壽計著
朝鮮六法要論 全一冊
朝鮮行政法規大意 正續全二冊
會話譯文速成 全一冊
作文軌範 阪上綱吉著 全一冊
法律問答 全一冊
以上一部定價金各四拾錢 送料各一冊金四錢
發賣所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

優等清酒
一鶴
京城永樂町二丁目 發賣元 本莊酒店 電話六五四番 振替京城六二〇番

米國紐育スタンダード・ペイント會社製
ラバロイド・ルーフイング
アスフアルト・フエルト
最上毛製屋根葺用(見本送呈)
朝鮮總代理店 京城本町二丁目(電話長四五番、二七七四番) 釘本藤次郎本店 振替貯金口座京城二五六番

◎米國戰爭準備に急也

華盛頓來電＝內閣會議後探聞する所に依れば、政府は强硬なる手段を執る爲め其の準備に急なるもの、如し議會に於て交戰狀態成立の宣言を見るや第一に聯合國に公債貸付けの事を議定し次に米國の戰爭準備に要する費用を可決し又戰爭材料の製造を急ぐ事なるべし（紐育電報）

◎全歐洲海洋の危險

駐英米國大使ページ氏は本國政府に打電報告して曰く今や獨逸潜航艇の危險區域は全歐洲の海洋に及べるもの、如し（香港電報）

◎湯遠く逃る

新民府を逃れし湯玉麟は馮麟閣が政府を憚りて助けざるより更に東北蒙古方面に逃れ去れり或は馮氏を介して張督軍に歸順を申出でたりとの報あるも確かならず（奉天特電）

□名譽の講演者　學習院卒業式

學習院にては來る三十日　天皇陛下、皇太子殿下の行幸啓を仰ぎ卒業證書授與式擧行に付當日　陛下の御前に於て名譽の講演奉侍者並に恩賜の賞品拜受の優等學生左の如し（東京特電）

△講演題目

宇宙と自然の法則　高等學科卒業　壬生　資美謹講
奈破翁のアルプス越に　中等學科卒業　岡村三二郎謹講
菊池武時の事蹟　初等學科卒業　山岡　龍次謹講

△恩賜賞拜受者

高等科一部卒業　大養　憲
同　二部卒業　賀美　謙郎
右天皇陛下恩賜銀時計各一個
中等學科卒業　岡村三二郎
右皇太子殿下台賜銀時計一個
初等學生　西郷　從順
同　山岡　龍次
右皇太子殿下台賜圖引具各一個

◎奉天鮮人總會

奉天居留朝鮮人會は二十六日第一回總會を開けり（奉天特電）

◎定例內閣會議

二十七日は閣議定日に就き寺內首相を初め在京各大臣は午前十時より內閣に參集し內外政務に關し協議したるが當日は露國新政府承認に關する件及び來年度の實行豫算を附議したり（東京特電）

◎輕便工事入札

輕便鐵道第一期線大邱、河陽間十四哩半の土工橋梁請負工事入札は二十五日正午開札の結果九萬五千五百圓にて草梁小原爲氏に落札せり二番札は管原組の九萬八千八百二十五圓なり（釜山特電）

◎全州農校卒業式

二十七日農業學校第六回卒業式を擧行し卒業生六十三名にして中十三名は內地人なり（全州特電）

◉總督全州出發

來全中の長谷川總督は二十七日朝多賀神社に詣で夫れより守備隊各學校を巡視し次で輕鐵にて裡里を經て光州に向へり見送り盛なりき（全州特電）

◉採漆事業の前途

日本の需要量と產額＝我國採漆業界の萎縮＝朝鮮は到る處漆樹の生育に適す＝現下の漆樹本數と主要生產地＝低廉なる生產勞費

最近農商務省の調査に據れば我國に於ける漆液の需要總量は二十六萬貫乃至二十九萬貫にして之を明治三十八年の十七萬貫に比較すれば約六割の增加を示せり、然るに內地產漆液の供給能力は僅に八萬貫內外に過ぎず之を明治三十八年の六萬貫に比すれば約二萬貫の增加を示せるも其の不足數十八萬乃至二十一萬貫は全部之を支那より輸入しつゝある現況なり、我國に於ては維新當時漆政弛廢の虛に乘じて數十年間保護せる漆樹は殆ど伐り盡され以て斯業漸く衰微して振はず漆樹は逐年減少し明治三十四年に於ける五百萬本は大正二年に至り僅に二十萬本を餘すのみとなれり然るに近來

▲支那產漆液　も漸次拂底を告げ品質愈劣化するに反し價格は益々昂騰するのみにして我國漆業の前途甚だ寒心に堪へざるものあり、故に漆樹の增殖は現今最も急務とする所なるも我國本土に在りては農業集約なると各種副業の發達せるとの結果今遽かに漆樹の增殖を計るは甚だ困難なる狀態に在り、然れども朝鮮に在りては殆ど全土に涉りて漆樹の生育に適せざる地なく其の總

▲本數八十萬本　を超ゆ、試みに今一萬本以上の漆樹を有する郡名及び其の本數を擧ぐれば左の如し

忠淸北道沃川郡　一一、八九五本
忠淸南道青陽郡　一四、九九八本
忠淸南道錦山郡　一〇、八〇〇本
慶尙南道咸陽郡　五二、九〇〇本
平安北道泰川郡　三六、四五六本
咸鏡南道新興郡　二一、五八六本

而して此の內平安北道泰川郡の如きは古來最も著名にして咸鏡南道新興郡、慶尙南道咸陽郡等順次相亞ぐ狀況斯の如し今後更に進むで山麓堤塘、路傍、畦畔又は家屋の周圍等の空地を利用し益々漆樹を增殖するに於ては國內の需要を充すこと蓋し難事にあらざる可し、加之鮮內の勞銀低廉なる爲め生產勞費を減少することゝ難からざるものあり、之を要するに朝鮮に於ける採漆業は將來極めて有望なるを認むるを得べく其勃興を見る敢て遠きにあらざるなる可し

◉第六回記念植樹成績

植付本數二千四十八萬本＝活著步合八割二分＝植林思想年を逐うて進步發達す

大正五年四月實行せし第六回記念植樹の植付本數はニセアカシヤ六百五十五萬本、アカマツ五百一萬本、白楊樹類三百七萬本、クロマツ百五十七萬本、クヌギ百四萬本、クリ六十五萬本、ヤナギ、カラマツ、テウセンマツ、ハンノキ、ヤマハンノキ等二百五十九萬本、計二千四十八萬本にして更に之を道別に比較すれば江原道の三百八十八萬本最も多く平安北道の二百二十七萬本、平安南道の二百二十一萬本、咸鏡南道の百九十四萬本、慶尙北道の百七十三萬本、忠淸南道の百七十一萬本、全羅南道の百六十二萬本、慶尙南道の百六十萬本、京畿道の百四十六萬本、黃海道の百十六萬本、咸鏡北道の七十二萬本、全羅北道の六十三萬本順次相亞ぎ忠淸北道の六十一萬本最も尠し、而して同年秋に於て

▲調査せし成績　を觀るにニセアカシヤ、クロマツの活著步合最も良好にして共に八割六分に當り、クヌギの八割五分、白楊樹類の八割三分、クリの八割二分順次相亞ぎアカマツの七割四分最も不良にして雜木は八割に當り全體の平均活著步合は八割二分なりとす、更に之を道別に比較すれば忠淸北道、慶尙北道及び慶尙南道の活著步合最も良く共に八割八分に當り、咸鏡南道の八割五分京畿道、忠淸南道及び黃海道の八割三分全羅北道の八割一分平安北道の八割全羅南道及び平安南道の七割九分咸鏡北道の七割八分順次相亞ぎ江原道の七割六分最も不良にして全道の平均活著步合は八割二分なり、尙ほ植付苗木中養成苗、挿木及び天然苗の三種に就き成績の概要を記述すれば

▲苗圃の養成木　はニセアカシヤ六百五十五萬本、白楊樹類百九十一萬本、アカマツ百六十八萬本、クロマツ百五十七萬本、クヌギ百四十萬本、クリ六十四萬本、雜九十九萬本、計千四百三十八萬本にして其の活著步合はニセアカシヤ、クロマツ及び白楊樹類の八割六分最も良好を告げクヌギの八割五分、クリの八割二分順次相亞ぎアカマツ及び雜の八割一分最も不良にして平均活著步合は八割五分なり、更に之を道別に比較すれば平安北道及び咸鏡南道の九割最も良好にして慶尙南道の八割九分、忠淸北道及び慶尙北道の八割八分、忠淸南道の八割五分、京畿道、黃海道、平安南道及び江原道の八割四分、全羅北道及び咸鏡北道の八割順次相亞ぎ全羅南道の七割九分最も不良にして

▲平均活著步合　八割五分に當れり、挿木は白楊樹類百四萬本、雜主としてヤナギ類百二十七萬本、計二百三十一萬本にして其の活著步合は白楊樹類七割九分、雜七割八分、平均活著步合七割八步なり、而して更に之を道別に比較すれば黃海道の九割二分最も良好にして全羅北道及び慶尙南道の九割一分、江原道の八割九分、忠淸南道の八割、慶尙北道及び咸鏡南道の七割九分、平安北道の七割七分順次相亞ぎ咸鏡北道の七割一分最も不良にして平均活著步合七割八分なり、天然生苗木はアカマツ三百三十三萬本、雜ヤナギ、カシハ、テウセンマツ等三十二萬本、白楊樹類十二萬本、クリ五千本、クヌギ三千本、クロマツ百本、計三百七十九萬本にして其の活著步合は白楊樹の八割二分最も良好を示し

▲雜の八割一分　クリの八割、クヌギの七割八分アカマツの七割順次相亞ぎクロマツの五割最も不良にして平均活著步合七割二分なり、而して更に之を道別に比較すれば全羅北道の八割五分最も良好にして慶尙北道及び咸鏡南道の八割四分、黃海道の七割九分、忠淸南道の七割四分平安北道の七割二分京畿道の七割一分、慶尙南道の七割江原道の六割八分平安南道の六割四分順次相亞ぎ咸鏡北道の五割七分最も不良にして平均活著步合七割二分なり次ぎに右各苗木の平均活著步合を比較するに養成苗の八割五分最も良好にして挿木の七割八分之に亞ぎ天然苗の七割二分最も不良なり即ち天然苗は既往數回の成績にも明なる如く其の成績概ね不良なれば道當局に於ても成る可く之が植栽を禁じつゝありと雖も

▲山間不便の地　に於ては養成苗の供給意の如くならざる爲め尙ほ未だ直ちに之が使用を斷つに至らず然れども植林思想の勃興は漸次斯業の改善を促しつゝあるの趨勢なれば天然苗の使用を斷つに至るも遠き將來にあらざる可し、第六回記念植樹に於ける活著步合を既往の成績に比較すれば第一回及び第二回は各六割一分第三回は六割六分第四回及び第五回は七割八分なりしに第六回は八割六分を示し年を重ぬるに從ひ其の成績次第に良好となりつゝあるは一般植林思想の進步發達を證するに足る可し

支那遍歷（第五信）　中島生

燕京日記（續き）

九、銀行と大學

七日は半日宿に在りて訪客に接せり午後、交通銀行に行き、總理曹汝霖氏を訪へり。曹氏はもと外交總長に交通總長を兼ねたる人にて、流暢たる紳士、日本語をよく語り、應對に捗目なし。本年一月此銀行を主宰する事となり、最も多端なる施行の前途經營には、頗る抱負あるが如く從來の舊套を革め新機軸を開くことに苦心中の旨をも語り居り候。交通銀行は確かに良總理を得たる事と存候支那の中央銀行たる中國銀行を訪ひたるが、總裁は北京に在らず、副總裁は他出中にて、要領を得ざる故、去りて北京大學に行きたり。校長蔡元培氏出で、應接し、校內を觀察したり。此大學は文科、法商科、理工科等に分れ、現在學生千五百名、外國人教師としては、英人七名、佛米獨各二名。日本人は一名にして服部博士あるのみ、外に丁抹人一名在りと云ふ。英語を主とし、日本語學生は七十七名に過ぎずと。大學とは云ひ條、未だ最高の學府たる資格を有するや否や疑問に候。

十、老柏亭々孔子廟

北京大學より文廟に廻る。孔子廟也。太學。明の永樂元年の新建に係ると云ふ。先師廟門の西面通用門を入れば、稍樹列をなし、元朝以來の進士題名碑數十基排列す。大成門の左右には檜造の石鼓各五個を備ふ。門に對して大成殿あり、滿庭古柏亭々として其葉蓁々、境內靈氣自から衣襟を正うせしむ。柏樹は五六百年を經たる老木にして、鷄鳴樹梢にあり。大成殿は民國三年秋重修し、丹碧朱塗結構太だ壯麗、黃瓦燦然として眼を射る殿內莊嚴にして、正面に至聖先師孔子の神位を奉安し、左右に四聖十哲の神位を配祀し、楣間には康熙帝御筆萬世師表の額を初め、淸朝歷代の扁額を掲ぐ。帽を脫して襟を正して神位を拜すれば、聖靈咫尺の前に在すが如く、敬虔の念に堪へざる也。

十一、宗教策と喇嘛廟

孔子廟に近く喇嘛廟あり。雍和宮と云ふ。雍正帝の大統繼承前府邸たりし所にて、其の登極後、西藏及び蒙古統治上の政策として、其邸を喇嘛に喜捨して之が靈場とし、政略的に宗教を利用して、蒙藏の統治權を掌握したるは頗る賢明の策たらずんばあらず候。廟內喇嘛僧の居住する者三百餘名あり。此日薄暮の頃にして普ねく觀るを得ず、一部を見たるが紅、黃、色の僧衣を纏ひたる喇嘛僧が珠子をつまぐりつゝ念佛三昧に入れるが殊勝に見ね申候。

此夜（七日）は中日實業公司の重役楊毓成氏より化石橋の同社に招待せられたり。楊子とは天津より北京に赴く汽車中初めて相識りしのみ。今招かれて饗應を受く、接待殷懃懇切を極む。山海の珍味一として口に佳ならざるなし。支那料理は世界一と存じ候。席上同公司關係の支那側名士に紹介せられ、充分交驩の機を得たるを喜び申し候。

十二、青年得意の時

八日、午前、中國銀行副總裁盒鳳留氏、同行會計局長汪振聲氏を伴ひ旅館に來訪せられ、少時談話致候。汪君は小生早稻田在學中倶に經濟科に室を同じくし舊知の間柄にて、君が中國銀行に在らんとは露知らず、端なく邂逅し、手を握りて相喜び候當年垢衣の一書生、覺束なげに日本語のノートを書き居たる人、今中央銀行の要職に在り。苟くも靑雲の志あらば、立身出世は樂なり。修養の新人重用せらるゝの易き、羨むに堪へたり。

此日は晚方より正金銀行小田切氏より其邸に招かれ、饗應を受け申候。小生等一行を主賓とし陪賓には陸宗輿氏、文農商次長其他支那側要路者數名並に在北京日本側新聞記者諸氏あり。頗る盛宴にて、紹興酒の杯を乾す事十回、數十回、醉聲堂に溢れ申し候。

〔蔘精製造高〕

總督府度支部專賣課開城出張所の製造に係る人蔘エッキスは從來平壤板倉益太郞氏をして一手販賣を爲さしめ居たるが本年より之れを開城蔘業組合に移せり昨年の蔘精製造高は百六十五貫にして此の價額約二萬七千圓なり

●東拓下關出張所

東拓下關出張所開設認可の事は既報の如きが會社は目下頻りに其の準備を急ぎ所長以下は四月一日附任命すべし

●郵便所新設終了

大正六年度に於ける遞信局施設の郵便所新設は此程全部終了したるが開始箇所は十箇所なりしと

●對岸に痘瘡熾ん

此程鴨綠江對岸なる東邊道より歸來せる者の談に依れば桓仁縣を中心とし痘瘡の流行猖獗にして病勢は漸次通化縣に蔓延し猖獗を極めつゝあり仍て日本赤十字社通化縣救療所に於ては本月三日より我居住民に對し接種を開始したり左れど輯安縣には未だ該病の發生を見ずと

●鵞口瘡猖獗

平安北道江界郡雲山郡にては本年一月以來鵞口瘡猖獗を極め今日迄の累計六百七十八頭あり又咸鏡南道長津郡にても現在の罹病牛五十七頭あり兩地とも未だ熄終の模樣なしと

人事消息

▲古海鐵道局長　▲太田副官　▲齋藤副官　▲文角警務官　▲國友警視　▲宮野警視　二十六日夜木原より歸京
▲吉田祐藏氏（高等農林學校教授）　二十六日入京南尾へ
▲因井省太郞氏（津野合資會社技師）　▲今村鶴氏（同）　二十七日朝退京の筈
▲神林啓太郞氏（成興炭坑社長）　廿六日夜退京
▲澁谷兵六郞氏（平北事務官）　同上
▲藤田臣直氏（朝日硝子社員）　▲伊藤關太郞氏（同）　同上
▲井上倉藏氏（大阪扇子社員）　同上
▲細田芷太郞氏（大阪貿易商）　同上

南言北語

米國の新聞記者大會は同國に於ける重なる年中行事の一つになつてゐる▲此會には毎年尠くとも五百名の有力な新聞記者が全州から馳せ集まる▲名代の政治家達は此會を檜舞臺として晴れの演說をする事になつてゐる▲從つて此會で討議せられた事、演說された事は直に社交界に於ける話題の中心となるのみか▲夫れが亦全州の新聞記事に大反響を傳へるから拔け目のない米歐の政治家や實業家達は之をうまく利用して自己を廣告し又は自己の商品を廣告する▲此會の終る日には盛大な宴會を催す事になつてゐる昨年は「米國製」宴會と稱して宴席の卓子飾りから、お土產の樣々に至る迄總て米國に於ける新たなる商品を廣告する主旨で設備された▲其結果は全米國の新聞によつて商品が紹介せられて有力な廣告に成つたさうだ▲所が昨五月に催される宴會は「日本製」宴會にしたら定めし興味あるだらうといふ說が多い此間右記者大會の主唱者から金子堅太郞子へ宛て右の事情を具陳して回答を求めて來た相な▲先方の見立てたお土產といふのを聞くと酸漿提灯、タオル、人形、玩具、錦絨、漆器の盆、日傘其他何でも米國人に珍らしがられさうなものを列擧してゐる▲それに面白いのは當日のボーイは總て日本の勞働者の服裝をさせるとある▲奇拔な米國の事だから或はハッピを著た赤髯の哥兒を仕立て、お給仕をさせる積りなんだらう▲朝鮮でも鳥渡やつて見ると面白からう

●露機關紙聲明

（二十日哈爾賓電報）

[illegible]無し此次露京の變動は[illegible]づるのみ[illegible]民黨[illegible]出[illegible]秩序常の如く露皇も[illegible]を下し位[illegible]如何は慮るべしと語傳す其實は露皇[illegible]んじ將來露國が變更して立憲となり[illegible]

[illegible]龍山漢江通り十一番地仲業四郎方に[illegible]て懲役六箇月の判決を受けしを不服として同覆審法院に控訴[illegible]

[illegible]闘な風呂敷包をなし附屬地方面に來らんと[illegible]門街の大通りに差し蒐る[illegible]警之を見て追跡せるため犯人は遂に金包を路上に投げ捨て其儘姿を隱し[illegible]

競爭入札　雜貨購買　總督府遞信局
一、入札式紙拾四點　詳細三月二十六日ノ本府官報ニ在リ

解雇廣告
店員　千田杏平
右之者不都合の爲め今月五日限り解雇仕候間此段廣告候也
京城鍾路水洞　電話二七九五番　大谷印刷所

京日案內
普通一回前金五十錢　番外一回前金一圓
▲申込後中途掲載中止の節は前金返附せず
▲六回以上の御申込は特に割引
▲御照會の節は返信料御添附の事
▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

［普通］
◎古本熱心高價買入　◎是非御試驗を乞　電話二七八一番　▲御報參上　▲本町四　▲書籍雜誌　631
◎店員入用　十四歲より十八歲迄の者五名但保證人を要す　京城吉野町　岩城商店　745
◎融通　月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報同又は御來談　京城大和町二ノ三二〇　赤木屋　739
◎嚙付かぬ前に、咬まれぬ前の犬に注射が安全、賢い愛犬家は速に施しあれ　本町二ノ四　京城狂犬病豫防注射所　742
◎店員入用　廿歲迄市內に確實なる保證人を要す　京城花園町　昌商會石鹼工場　743

［番外］
新龍山同窓會開催　二十九日午後一時より當日會費二十錢持參　龍山同窓會幹事　750
◎男女外交員入用　固定給並に步合を給す　黃金町一丁目六十番地　國產興業會社出張所　748
◇入學生徒に告ぐ　○中學校各小學校帽子製作品揃　京城本町二丁目　電話二四二七　北村製帽店　747
●藥學生募集　短期速成　夜間敎授　四月一日新學期開始希望者は黃金町三丁目藥店梅崎政雄方へ申込あれ　長橋通長動學校內　朝鮮藥學講習所　709
京城春川間自働車　賃金片道四圓　●京城發前八時　●春川發前八時　京城水標橋通り　電話二一三八番　京春自働車商會　支配人　松田靜男　622
有給社員招聘　希望者は履歷書携帶來談　京城黃金町二丁目　橫濱生命支部　730
社員入用　年齡二十七八歲以上中學若くば同學以上市內に確實なる身元引受人二名を要す（姓名在社）　729
看護婦入用　志望者は直接來談の事　龍山元町一丁目　イツキ病院　740

歐洲戰亂に就て臺所の急務
一、人の資格は臺所の締りに依る金の入る時は銀行に限る
一、酒と醬油は佐藤牧に限る、忘れられては臺所が？
一、一年の剩餘で衣裳が出來ます實行は論より證據
一、藥書代は返戾致します電話二二九番です
一、市內は何れも自轉車配達致します

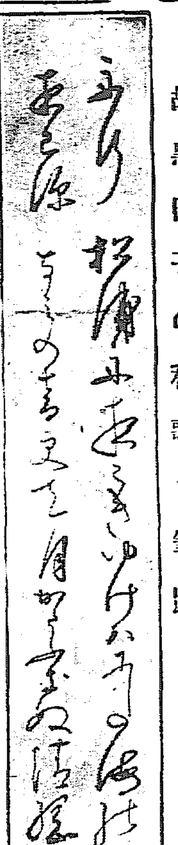
四月一日より五日間
春衣大賣出し
京城本町　丸一吳服店

……鑑みるが故に各處の革命黨潮は徒らに地方を擾亂し大局に毫も補助する……抗の能力無く日を逐ねて全國軍隊一致して臨時政府に附和し各處の……を識らざる者或は故意に謠言を捏造し一己の利を希圖し每に露國の前途……現象に對して……敎す深く各界が謠言の爲めに惑はさるゝ所勿からんを望む仍各生業に安……む可き也

●……して遊興　京都市上京區西堀川町生れの明田幸三郎(二)は……に彌生町大黑入船等にて遊興消費し龍山分隊に檢擧され京城地方法院に……

……長春城內錢舖……日午前十一時頃店用にて洋錢七百餘……が十五……は其金包を引つたくり一目散に逃げ去りたるが附近に立ち番せる一巡……街路に次ぐ人通り多き所なりと（長春）

故黒田子の和歌と筆蹟



◉薨去された 黒田子爵 江戸奠都の首唱者

二十三日鎌倉で薨去された黒田清綱子爵は維新以來の功勞者として生前樞密顧問官の要職にあつたことは人の知る通り遺骸は白梅や紅梅の咲き亂れた東京麻布笄町の

◆本邸に於て 靜かに嗣子の清輝畫伯や清秀氏などに祀られつゝ、至尊よりは特に旭日桐花大綬章を加授の御沙汰ありしとは故人の死して餘榮あることでもあらう子爵は享年八十八歲これまで樞密院の最年長者として且また御歌所寄人として

◆兩陛下御製 拜見の榮を擔つて居たのであるが幼より薩藩の嫩兒社に入り容貌に似ぬ豪膽であつた、子爵の逸話として數多き中に彼の大西郷遠流赦免の議を主張したと並に筑前太宰府に於て藩府が七卿を擒へて關東へ送らんとするを防止したとは已に

◆世に聞いた ところ猶ほまた德川慶喜公大政奉還の形勢を見て大西郷と共に藩主を奉じ東上の途中三田尻に於て長州侯と機密を圖つた大功もあり猶大久保利通公の浪華遷都論に對し江戸奠都を主張した人、其の

◆維新の鴻業 に盡したること頗る多きに今や溘焉として逝く惜みても猶餘りあることである

◉南北滿洲視察團に對する 日支官民諸賢の協贊（五）

先發準備委員　上田白川

旅順見學

視察團は四月二十一日午前七時五十分大連驛發列車にて明治三十七八年役の戰跡見學を爲す可く旅順に向ふのであるが。今茲に事新しく繰り返へす迄もなく旅順は日露戰爭當時帝國の忠勇なる幾萬將卒の犧牲を拂ひ所謂肉彈戰を以て攻略し得たる次第にして今次の視察團員の如きは決して遊覽的視察にあらず形式的見學の意義を以て行動す可きを豫め十分の申合せを爲す筈である。抑々旅順は關東州の最南端に位し其名稱は渤海國時代より傳はりしもの丶如く黃金山、老鐵山等の如き早くも唐時代に於て所謂金山、鐵山と云ふ點から命名されたものだ。

旅順要塞沿革

旅順は明の遺跡であつて水師營は淸の太宗山東を勸請するの際軍船を出帆せしめた所だと云ふが旅順を軍港としたのは光緒五年時の直隸總督北洋大臣李鴻章が渤海防備の爲め旅順及び威海衞を經營したのが起因である。其後光緒二十年即ち我明治二十七、八年日淸戰役の爲め大打擊を受け戰後一時我軍之を占領したが翌二十一年十月に至りて還附したるを光緒二十三年十一月露國が關東州を租借するや此地を以て極東經營の根據地と定め巨資を投じて砲壘の築造、市街の建設に努めたる所明治三十七年二月偶々日露戰役勃發し終に卅八年一月二日再び我軍の手に歸して軍政を布き後講和成るや露國の租借權を繼承して民政を布き以て今日に至つたのである

旅順口の形勢

旅順口は東西二港に分かれ兩港の水相合して外海に通ずる一條の水道は幅員二百七十餘米突に過ぎずと雖も水深くして大艦巨舶の來往自在なり所謂旅順口の名は此水道口を意味するものである。港口の東側には黃金山屹然として聳え西方には老虎尾半島の城頭山、饅頭山等蜿蜒起伏し其岬角門口を扼す實に天成の軍港であつて其沿海山脈亦自然の砲臺を爲して居るが其港口は日露戰役の始め三回に亙りて我閉塞船隊の諸勇士が決死の働きを爲して芳名を不朽に留めたるの戰場にして海聲長へに其忠勇壯烈を語りて居る

砲臺戰跡見學

旅順驛長久保田金平氏は旣に同驛に勤務する約十年精神家にして役に旅順攻擊に陣亡した幾萬忠烈の將卒を哀悼する一心より十年一日の如く朝來夕去の觀光の客見學の上に對して案內又は說明の勞を執り毫も倦怠の色なく今日に至りたる次第であるが我南北滿洲視察團の訪問に對しては殊に贊同の意を表し視察團見學の當日は中途の夏家河子驛迄出迎へ車中旅順に入る迄の間沿線の戰鬪經過を說明しつゝ列車は午前九時二十分に旅順驛著一行は下車するや待合せの馬車に夫々分乘直ちに先づ白玉山に向ふ事となる

鬼哭愁々の跡

抑々旅順要塞戰は約半歲の久しきに亙り之れに前戰地を包括すれば北面百方里の地域に跨り僅少の時間を以て各戰跡を周巡せん事は到底望む可からざる事なるが故前記の如く團員一同先づ旅順要塞の中心に聳ゆる白玉山に登臨して先づ忠魂碑及び勇將猛卒二萬四千餘人の忠魂を祀れる納骨堂に參拜して後ち四周の丘陵を遠望し同所に於て一場の講話說明を聞き終つて同所に於て關東都督府よりの茶菓の饗應を受け之れより團體は二大部に分れ旅順驛副の將校及び旅順官民有志の先導にて一方は松樹山東鷄冠山北砲臺方面、一方は二龍山砲臺方面を見學して正午二龍山砲臺に落合ひ此所にて午餐の辨當開きを爲し午後は少憩の後ち再び一團となり椅子山、大案子山の兩砲臺を見學する

記念品陳列館

戰蹟砲臺等の視察を了へたる一行は旅順要塞戰記念品陳列館を觀る。同館は要塞戰の模型及び攻圍戰の當時日露兩軍の使用せし各種の武器を陳列せる所で停車場より東南方約十餘町の舊市街の南端にあり館內を一巡仔細に破壞せる武器を點檢すると明かに當時慘戰の情を想像し得らるゝ斯くて團體は午後四時四十分旅順驛發列車にて同六時十分大連著分宿晚餐の上午後十時大連驛發北上湯崗子溫泉場に向ふ

◉閘門組立 技師と材料が亞米利加から著いて に掛る仁川の築港工事

仁川築港工事は大部分進捗して目下工事中の最も重要な閘門を組立つ可く準備中で米國からは有名なパナマ運河の

△大工事 に携つたベンヂヤミン、ペアー、ダウンビル氏が土木局の嘱託として二三日前京城に來り局長や阪出技師と打合せの上三井物產の五十嵐留彥氏と共に仁川に來て現場を視た、ダウンビル氏曰く閘門式の築港はパナマ運河を始め印度のベンガル灣其他世界各國には隨分多いが仁川の如く潮の

△干滿に 依る者は瑞典、諾威などにあるが殆んど稀で印度のベンガル灣にあるのは洪水の被害を避ける爲めに設けた者である、パナマ運河は御承知の通り海拔八十餘呎もある湖水へ三萬噸餘の艦を乘り上げて又下るのであるから其の規模の大なる事は非常な者で閘門も四十六組九十二門あつて其の高さは最高が八十二呎最低が四十七呎七吋であるのに比して仁川築港の

△閘門は 單に高さ四十數呎の者が二門に過ぎないからてんで規模の上から言へば問題にならぬ」閘門及び附屬器械の大部分は既に七八分通り仁川に到著したから近く永井出張所長が主任となり三井物產の荒木氏が顧問となりダウンビル氏が補助役となつて組立に著手し六箇月の後には閘門全部の

△工事が 終る豫定でダウンビル氏は工事が終り次第橫濱東京を巡つて歸國する事になつてゐる因に閘門の用材としては獨米英佛ギアナからわざ／＼取寄せたクリンハートと言ふのを用ふるのであるが同材は水の中に入ても決して腐蝕せず水の騷流を防ぐのであると相な（仁川）

◉娼妓狂言自殺を企つ

京城新町遊廓第二元祿樓事寺本米吉方の抱娼妓力彌事石村てる(二〇)は二十五日午後三時頃獎忠壇附近を散策中俄かに發病したりとて通り蒐りたる擔軍に擔がれ

△呻吟しつゝ 歸樓したるより家人は大に驚き新町病院より醫師を聘して診察を受けしめたるに別に苦悶の狀態もなく何物か少許り嚥下したる形跡あり急報に接し新町交番の警官出張して取調べたる結果洗滌用リゾールを飲用して自殺を企てたる旨申立てたり力彌は昨年十二月上旬頃より龍山青葉町居住の中原龜一(五〇)と深く馴染を重ね龜一は其後十數回登樓し四五十圓を遊興し二十五日も共に相携へて郊外に散策したるに同日龜一は無一文のことゝて遊興も出來ず龜一は其儘

△現場を逃走 したるが力彌は衣類を殘らず入質し居れることゝて樓主に對し申譯なく自殺を企てしものと判明したるが兩人の間には別に情死を企つる程のこともなく一面樓主より虐待を受けし形跡もなき事より察すれば全く狂言自殺を企てたるものならんと

私立技藝女學校卒業式

大正三年九月から再興した南大門の女子技藝學校は既報の如く廿六日卒業式を擧げた、式場は狹い裁縫室の壁上、正面に……の鉢の卓上に卒業生の作品を並べて……人は井上校長、……受ける人は優等卒業生總代小野田睦子さん、來賓席には大澤京畿道第一部長、倉行府尹大山府書記、父兄保護者等の顏振が見え、式は午前十時十五分に始まつて同十一時……つた、……證書を持つた……に……下げの人は何れもニコ／＼して……ほほえまさであつた

◉大阪に色情狂

大阪市に色情狂現はれ婦人二名斬られたるが出沒自在にして未だ縛に就かず（大阪特電）

◉少女燒死す 大阪北堀江の火事

二十六日朝大阪市西區北堀江三池田三丁目新田光方より出火し全燒半燒合三戶少女一名燒死せり（大阪特電）

◉有菌鼠發見

大阪市西區三軒家に有菌鼠一頭發見せり（大阪特電）

◉馬山機關庫火事

二十六日午前十一時頃馬山停車場構內機關庫より出火し同倉庫一棟を全燒せり損害約七千圓の見込なり（馬山特電）

◉淡路丸沈沒虛報

日本郵船汽船淡路丸は二十五日門司發長崎に向ふ途中沈沒せりとの報ありしが右は虛報なりとの入電ありたり（大阪特電）

△別報 淡路丸沈沒の報は事實無根にして日本郵船會社門司支店にても全然之を否認し居れり（門司特電）

◉電車に觸れて負傷

京都に閑居せる支那亡命者陸長生三男羅勳宇(一九)は二十六日電車に觸れて顏面に負傷せり（大阪特電）

◉猩紅熱

京城永樂町一丁目坂本方同居小林ちよ(二二)は二十二日蓮井西日池田醫師診斷の結果猩紅熱と判明し患家は消毒し患者は入院加療中

◉光顏院殿七回忌

西本願寺大谷光瑞師裏方故光顏院殿七回忌法要は若草町西本願寺に於て二十七日午後一時及び同七時半より都合二回修行法要講演あるべし尙ほ二十八日は一般婦人會死亡者の追弔法會を行ふべしと

◉京城幼稚園卒業式

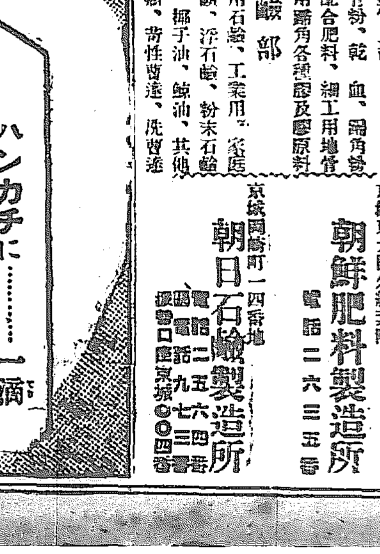
朝鮮貴族設立の京城幼稚園にては廿八日午前十時卒業式を擧行さる可し

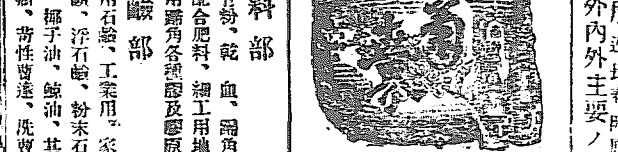
◉京城吟社俳句會

今回俳人諸氏たる浮城會と俳諧敬心の一團と合併して新に京城吟社なるを組織し毎月三回の例會を開き俳句の研究をなす由にて入會を歡迎する趣なれば希望者は黃金町三ノ二九西村翔竹氏に申込む可し

さわうのさわう

コレハ或る將棊自稱天狗の話し▲京城の紳士仲間で將棊の一流二流を大別すると一流には鷹判事、秋山參事官、大屋長官の三人が行き▲二流は岡京電專務、矢野遞信、有賀殖銀、久芳人事、岡本電氣各課長、馬詰東亞と云ふ所ださうな▲秋山參事官の將棊は豪放で見てゐて氣持ちがよい、鷹判事は恐らく京城將棊界の第一人者だらう、大學賢質な學者風のさし方だ大屋長官は用舍初段を以て自ら許し、京城無敵と稱してゐるが、高官だけ上手い事は馬鹿に上手いが駿樣的にぬけた所があるさうな▲秋山氏と鷹氏と大屋氏の手合せを一つ願つて順位をつけたらよからう▲岡京電は馬鹿に好きで又相當にさす矢野氏有賀氏は性質のやうに奇麗に勝負をする、少しも駒を惜しみます。ドシ／＼敵の急所に喰ひ込んで行つて、對手を弱らせて喜ぶ▲久芳氏の將棊は可なり堅い、步一兵も仲々人にとらされぬ、とられると其の都度嘆聲を擧げる▲岡本氏は將棊の手を將棊に應用して可なり巧者に出で、馬詰氏も仲々やるさうだ▲藝妓置屋花屋の主人が狂犬に手を咬まれた事は既報の通りだが▲一日に二回の注射卅幾圓とかかかり▲然も一週間も續けねばならぬので主人大弱りださうな

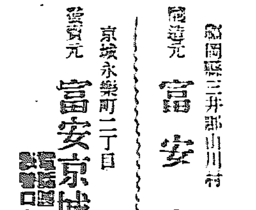




電話 二二一
京城南大門通三丁目 福田又京城支店
振替貯金 京城二九二

御西洋料理調進
客室食堂完備
市內四通八達の場所にして前の地なり御便利に取計可申候
京城南大門通三丁目 ファミリーホテル 電話一二二八番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
電話 京城三三三番
支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

優等清酒

福岡縣三井郡山川村 醸造元 富安本店
京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話一〇三九番

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、工業用家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅華町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

百十八

闇の川風『廿二』の三

『無禮な奴儕ぢや。乃公が名を言ふては何とか彼とか我鳴つとる容子ぢやの』

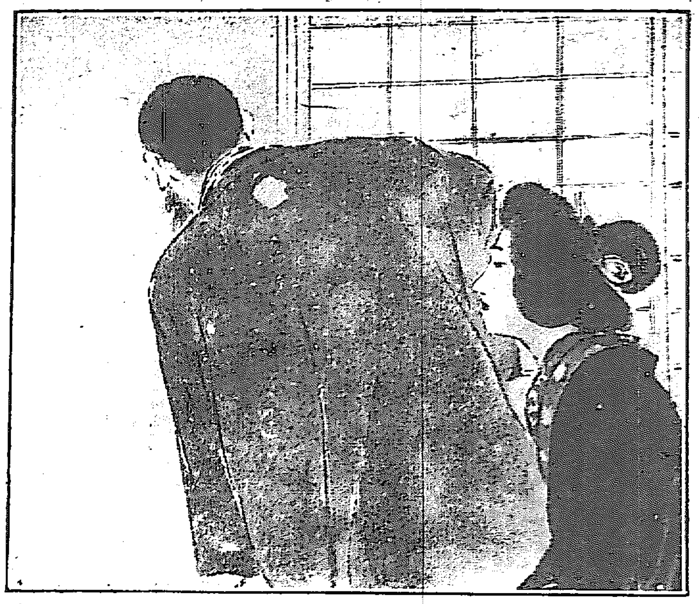
男爵は、苦りきつて偕離亭の方を睨み詰めて居られた。

『ほんに然うで御座いますわね。女中どもからでも聞き知つたので御座いませうが、大分にもう醉ひが廻はつて居るやうですから打捨つてお置き遊ばせ』と、お袖は、側から宥めるやうに言つたが、その癖、自分では一生懸命聞き耳を立てゝ居た。

『おい、こりや倉橋、君も天下の藝術家ぢやないか、少しばかりの酒を飲んで、精神が狂ふやうでは駄目ぢやぞ。高が女の一人位斷念めると決心したら斷念めて了へ。何ぢやと？花泉男爵のやうな阿呆殿樣が世の中に存在しとればこそ、絹代なる者あんな悲慘の境遇に陷つて了つたんぢやと、斯う言ふんぢやね。莫迦な！そりや君の悟入しない屁理屈と云ふもんぢやよ。行かう／＼。大抵に此處を切り上げて、もそつと陽氣な場所で飲み直さう』

他の一人が聲を惜まず我鳴り立てやうと爲るのを、一人は、無理に抑へ付けて說得するやうな調子に聞ねる。

『何ぢや？倉橋と云ひ、絹代と云ふ嗜り聲も聞ねるやうぢやなう、お袖さん』



男爵の太き眉根は、忽がしく昂つたり下つたりするのであつた。

『浜側藝手古で御座いますね、御前……』と、お袖も、眉を打顰めて、少時胸に手を宛行つたが、

『……何だか、妾、倉橋と云ふ姓は聞いた事があるやうでなりませんが、御前のお胸には思ひ當る事がお有り遊しませんで御座いませうかね？』

『然ればぢや、乃公も多少は耳に爲たやうな氣がせんでもないぢやが、確とは記憶しとらんの』

『まあ、お待ち遊ばしませ。絹代さんに就いての倉橋……』

幾分心に思ひ出した事があるらしい氣色で、お袖は、一倍欄干の端近くへ進み寄らうと爲た。と、今度は、正しくその倉橋と覺しき方の聲音で

『村山君、濟まん、濟まん。大いに濟まん。僕は生れて以來今日のやうに醉つた事はないんだ。が、勘忍して呉れ給へ。そりや君に言はれるまでもなく、絹代なんかの事は、もう全然念頭に置かん了簡で居るんだけれども、先刻實は便所へ行つた時、素敵に立派な自動車が邸の入口の所に見ねて居たんで、何心なくその持主を聞いて見ると、原町の花泉男爵殿が來てお在だと、女中が言ふんだ。只さへ醉つてる處へ、その一言を聞かされたもんだから、實の所、鬱ツと一時に堪忍袋の口が、噴火的に爆發して了つたんでね……實際君が止めて呉れんかつたら、僕は何でも關はず、男爵の飲んどる座敷へ亂入して、一思ひに武者振付いてやらうと思つたんだよ。おい藝妓君、咽喉が渇して仕樣がないから、その杯洗の水を呉れ給へ』

姿こそ見ねないが、斯う言つて杯洗の水を飲み干して居る模樣では、何うやら最初の勢ひから見ると、餘程精神が落着いて來たらしいのであつた。

男爵は、思はず太息を吐いて、お袖さんの顏を見られた。

『お袖さん、察する所、彼れが絹代の許婚とやら云ふ男ぢやあるまいか。乃公も能くは知らんけれども、何でも畫を描く青年ぢやと云ふ話を聞き挾んだやうぢやが……』

『御前、それに間違ひ御座いません。妾も今實は然う申上げやうと思つとりました所なんで御座います。で、その倉橋と云ふ畫工さんなら、妾も少し仔細があつて、一度會つて、お酒を飲んだりした事が御座いますんですが、それは／＼藝術家氣質とでも申すんで御座いませうか、隨程風變りの偏屈らしい人間で御座いますの』

『怎麼にも然うぢやらう。今の容子を此處から竊聞きしとつた丈でも、普通人とは可なり違つた頭を持つとる人間と云ふ事は分つとるんぢや。併し、あんな連中に亂入でもされやうな事があつては、お互の名譽に關する次第ぢやから、此方は此方で好い加減に切上げるとしませうの』

男爵は、席を起つた次手に、稍の間を排つて歸邸の仕度に著手られたのであつたが、前の桑原夫人お袖の方は、何とやらんまだ氣懸りさうな顏して、離亭の一室から全く眼を放さずに居るのであつた。

□君府落つるか

英軍はバグダッドを陷れると息をも繼かずモッスルへ進軍中であるが既に破竹の勢ひが成つて居るから序に君府を突いたら如何なるものであらう、道德的效果も結構であるが實質的效果が之に伴つたら更に妙であらう、君府は七つの丘に建てられ殘らずに海を以てし近世の戰術から見ても難攻不落の天嶮であるが攻防の手段は相互的に發達して居るから君府があつても只つた二度陷ち十字軍を土耳其人が陷れた其稀有の例を若し英軍若くは露軍が若くは其聯合軍が繼ぐことの出來ない譯はない地中海と黑海と小亞細亞とから挾擊して永い近東問題の禍源を根絶するが好からうさる場合に於ける道德的效果は眞に甚大であつて延いて戰爭終局の期を早めることゝ受合である

○公州山城吟社　二月二十日例會

接穗して靜に土を離れけり	友濤
初雷や海月靜に流れけり	同
紅白の衣裁つ家や燕の巢	同
相思なりし紅白の梅接木哉	空堂
初雷や雲雀の籠の房搖るゝ	同
就中高き梢や鴉の巢	未刀
接穗して仰げば雨脚迫りけり	水園
初雷や沖より歸る鰯舟	桂川
初雷や胸毛を立てゝ籠の鳥	方外
初雷や搖きの輕き池の渦	如雪
初雷や沖に動かぬ舟一つ	雲水
農談會講師に侑む蜆汁	神岳
梢影の折れ込む底の蜆哉	可舟
春曉や我に阿る絹蕾團	不醉
春曉や馬に糧やる桶の音	奇石
春曉や船室に人熟睡して	一佛
鳥の巢に一本松の月夜哉	悠々
カナリヤの巢籠る春の小雨哉	死香
とう／＼と落つる瀑布小鳥の巢	同

新刊紹介

▲相談之友（三月號）（五錢東京市本郷區駒込千駄木町一八六共社）
▲法科學報（三月號）（十錢東京市神田區三崎町共社）
▲トモダチ（四月號）（十二錢東京市麹町區富士見町一二榮社）
▲子供之友（四月號子供旅行號）（十二錢東京府雜司ケ谷上り屋敷一四八婦人之友社）
▲石油時報（三月號）（十錢東京市麻布區龍土町六六共社）
▲婦人週報（三の一〇）（四錢五厘東京市牛込區市ケ谷田町二の一七共社）
▲養雞指針（二月號）（九錢大阪市南區生野國分町四二養雞獎勵會）
▲實生活（三月號）（十錢東京市芝區伊皿子町四二共社）
▲朝鮮教報（三月號）（七錢京城元町二の七三本願寺內共社）
▲今樣（三月號）（東京市神田區駿河臺三四松屋吳服店）
▲滿蒙研究彙報（第壽號）（會費月三十錢大連市乃木町共同會）
▲英語俱樂部（一の三）（十二錢東京市麹町區下二番町四二共社）
▲木太刀（三月號）（十八錢東京市牛込區二二共社）
▲茶男新報（三月號）（二十錢東京市下谷區共社）
▲朝鮮鐵道青年（三月號）（會費十錢龍山鐵道局內共社）
▲小學新報少年號（四月號）（八錢東京市九共社）
▲小學新報少女號（四月號）（八錢東京市九共社）
▲經世（三月號）（十三錢東京市芝區田村町六共社）
▲刀劍と歴史（三月號）（二十錢東京府下）
▲拓殖新報（三月號）朝鮮の長所は氣候の短所に於ける日本人の先驅者（二十錢）
▲新少女（創刊號）御機嫌伺候、花見時世相話なる四篇出劇あり其他如例（十二錢東京府雜司ケ谷上り屋敷一四八婦人之友社）
▲海國少年（創刊號）海戰艦の放談、雨か風か、帝國の生ある途、鯨の千里な愉快なる介類の小說を散め海洋特別大懸賞の募集あり（十一錢東京市芝區南佐久間町一の一共社）
▲我が家（創刊號）婦女と兄弟雜誌にして質實樸朴なる家風を養成し家庭の圓樂を增進する目的として生れたるもの（五錢東京市麹町區飯田町三の五二番內在鄉軍人會本部）
▲商戰（三月號）株式界、米界を主とし其他各種商品の需給狀況並に一般財界の趨勢金融の景況狀態等を報告せるもの（十八錢東京市日本橋區兜町二株式商況社）
▲極東時報（一七）獨逸の密謀を一掃せよ、露國文化と世界の文明、悲壯な死體の山、果界の商品見本等（十八錢東京市京橋區築地明石町三三共社）
▲憲政（二の二）政友會の行動に對する後藤內相の言說、寺內首相侍臣內相の訓示に對する國論の反響を蒐錄す（二十錢東京市神田區三崎町一の五共發行所）
▲日本之關門（三月號）戰後の經濟競走と企業合同、勝田主計論、朝鮮、金融調節と現內閣、心靈の研究人宇宙、朝鮮の經濟實狀等（十五錢下關市東南部町報社）
▲朝鮮彙報（三月號）總務部長、官立學校長に對する總督の訓示、朝鮮婦人の本夫殺害の團分三支書東部內蒙古の富源「野口次郎」朝鮮の經濟に就て「平田德太郎」其他各欄如例（二十五錢朝鮮總督府）
▲婦人世界（春期增刊家庭教育號）教育者より家庭への注文、家庭で復習のさせ方、學校以外のものを習はせる可否等に就て數名家の說其他如例（十七錢東京市京橋區南紺屋町一二實業之日本社）

京蘇 家具 漆器　増田本店

仁川 白神洋行 京城
鐵　鋼材　浪板、平板　針金、洋釘
ペイント、油類一切、コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル、帶革、ロープ、機械、工具、附屬品其他
新田帶革總代理店　【朝鮮總督府一部次第無代進呈】

最新刊

書名	著者	定價
段錢物語	前田晁	二、五〇
戰時的人生觀	渡子木貞信	一、二〇
戰時の將來產業	西川博太郎	一、二〇
藝術教授の實際	龍保	七五
國語中心國語教授法講話	赤坂	一、三〇
恩師乃木院長	服部他助	八五
公式應用和文英譯新研究	山崎貞	七五
大正六年教育年鑑	帝國教育會	四八
誰にも出來る模範生活法		九五
女子文章拾武ケ月	內海月杖	七〇
婦人文苑黃鐘の卷		一、二〇
美味しく手際に出來るお餅の作り方	小泉	五〇
英文適譯法	佐川春水	七五
トルストイ傳	相馬御風	七〇
誰にもわかる正式珠算の彈き方		五〇
日用文獨習	三輪環	五〇
新少年文集	宮岡南方	二五〇
鏈裝浮世風呂	小川	四〇
岩見重太郎	武田	三〇
基本練習用語讀かな帖		四〇

大阪屋號書店　京城本町一丁目

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も迅速と可及的親切を旨とし御高需に可應候
京城日報社　寫眞製版部

長壽靈品は「ヨーグルト」
京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇四番
「荒井の牛乳」 滋養と健康の母

味噌の横綱　ほまれみそ

最上醤油
朝鮮仁川尾
高杉醤油醸造場

ルーデサック
男用一打四拾錢 上製六拾錢 特製一圓八拾錢 各種
▲花柳病自宅療法 申込次第進呈
東京トラック商會滿鮮本部　京城永樂町二丁目交番北

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶行
○大有丸　四月二日午前四時出帆
○秀吉丸　四月六日後四時出帆
○君か代丸　四月四日後四時出帆
○神代丸　三月廿九日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番　高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
大連行、太沽（天津）牛莊行
○相模丸　四月廿一日正午出帆
○三河丸　四月十一日正午出帆
○[illegible]砂丸　三月卅一日正午出帆
仁川海岸町　郵船回漕部

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行　○和泰丸 三月 日後五時出帆　○立神丸 四月 日後五時出帆
元山、淸津、城津、浦潮行　○和泰丸 四月 日後四時出帆　○立神丸 三月 日後十時出帆
九州、西湖、新浦、城津、淸津行　○第三共榮丸 三月 日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行　○第三琴平丸 三月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　○天眞丸 毎月二日、九日、十四日、二十六日 午後十時出帆
釜山港埠頭立 本船取扱店　大池回漕部

大阪商船仁川出帆
群山、木浦、釜山、關門、神戶行　天龍丸 四月四日　汕頭丸 三月卅一日　山陽丸 三月 日 五時出帆
木浦、釜山、關門、神戶、大阪行　信濃川 三月廿九日後二時出帆
群山、木浦、神戶、大阪行　天智丸　濟州丸 三月 日後五時出帆
木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行　安東丸 三月廿七日　安東丸 四月十四日 後二時出帆
群山、釜山、福浦行　福州丸 四月十五日　潮州丸 四月二日 後二時出帆
鎭南浦、大連行　安東丸 四月九日　安東丸 四月廿七日 後二時出帆
大連直航　福州丸 四月九日　潮州丸 三月廿七日 正午出帆
淸津、浦潮行（元山出帆）城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港　安平丸 四月四日　宮島丸 四月十一日 後十二時出帆
上海、基隆、打狗行（大連出帆）　音羽丸 四月十五日前六時出帆　基隆丸 三月三十日後四時出帆
御注意
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店 電話二〇番
切符發賣所　內國通運會社京城支店 電話七〇八番

朝鮮郵船出帆
江原丸 四月二日　京畿丸 三月 日　黃海丸 三月三十日　咸鏡丸 四月 日 釜山發
昌平丸 三月廿八日 元山發
德丸 三月廿七日 釜山發
江陵丸 毎日　襄陽丸 毎日 浦項發
海州丸 三月　統營丸 三月 日 釜山發
平壤丸 三月　忠淸丸 四月六日 元山發
順天丸 三日目毎ニ 木浦發
慶興丸 三月廿八日　慶興丸 三月 日　公州丸 三月 日 木浦發

共同汽船仁川出帆
之罘、大連行　伏見丸　三月廿八日午後入港 三月三十日正午出帆
仁川代理店　野口商會　本町四丁目 電話一七三番
元山代理店　田口回漕部
京城收次店　河村運送店

三越
四月一日より五日まで五日間
三越のよせぎれ大賣出し
見切及物
弊店特製のネル、セル、洋傘、ショール澤山取揃申候
京城本町　三越呉服店

商況
▲二十六日後場　大阪前止十六圓丁度後寄未着に就地は前場休會せし爲め人氣揮ひ居りしも立會へば案外手堅にて前場十二圓、十錢より五十錢あり